

マイサーバーサービス 利用マニュアル
(バーチャルドメインユーザーの利用方法)
マイサーバーVPS compact

RIMNET <http://www.rim.or.jp/support/>

Members Guide Book 2010/07

はじめに

本利用マニュアルでは、マイサーバーVPS compact のバーチャルドメインの設定後についてのご案内となります。
バーチャルドメインで作成された各アカウントユーザーの利用方法についての解説をします。

目次

はじめに	1
目次	1
1. バーチャルドメインユーザーの利用方法	2
1-1. 概要	2
1-2. HDE 管理画面へのアクセス	2
1-3. Web サーバー設定	3
1-4. セキュアWeb サーバー	13
1-5. 鍵と証明書（SSL）設定	18
1-6. クライアントソフト設定情報	21
1-7. メールサーバーの管理	22
1-8. メーリングリスト	29
1-9. DNS サーバーの管理	40
1-10. FTP サーバーの設定	42
1-11. ユーザー管理	43
1-12. バーチャルドメインのユーザーカウント者利用方法	47

1. バーチャルドメインユーザーの利用方法

1-1. 概要

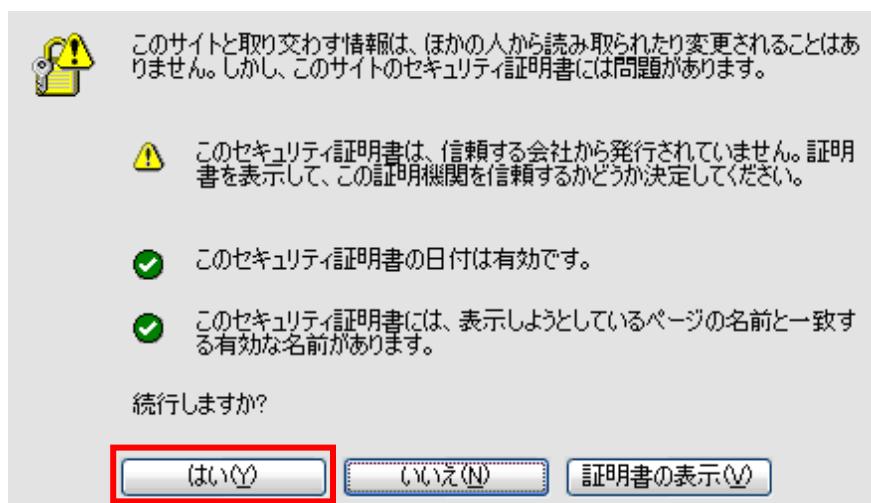
バーチャルドメインユーザーとして、HDE Controller にログインし、操作する方法を説明します。

次項に従って設定及び確認を実施してください。

1-2. HDE 管理画面へのアクセス

バーチャルドメイン管理画面のアクセス

<https://ドメイン名:16590/>



セキュリティ警告画面が表示されますので、「はい」をクリックして続行します。

ユーザー名とパスワードを入力してください。

サイト: example.com
領域: HDE Controller

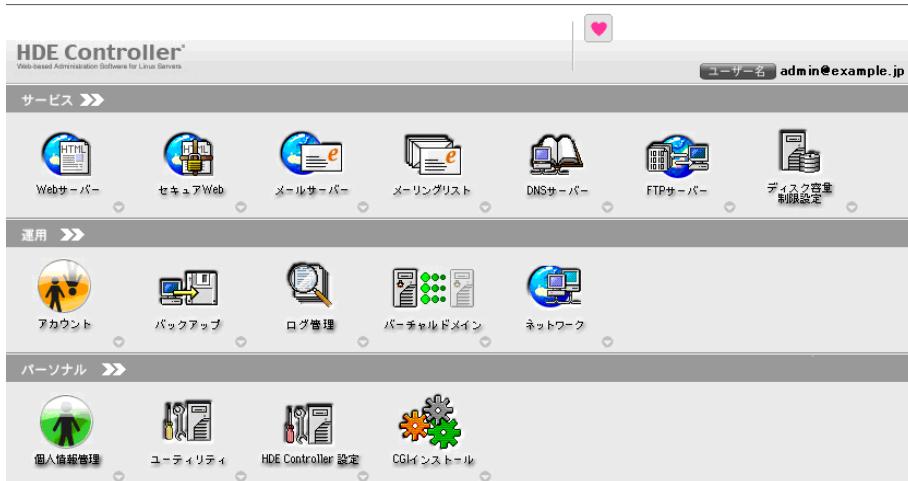
ユーザー名(U): root@example.com
パスワード(P): *****

このパスワードを保存する(S)

OK キャンセル

ユーザー名	[ユーザー名]@[バーチャルドメイン名] (例:admin@virtualdomain.isp)
パスワード	バーチャルドメイン作成時に設定した管理者パスワード

ログインすると管理画面が表示されます。



1 – 3. Web サーバー設定

● 基本設定

通常は変更する必要がありません。

基本設定については、デフォルトの状態で運用いただいても特に問題は発生しませんが、ご利用される環境に応じて変更を行ってください。

The screenshot shows the 'Basic Settings' tab selected in a navigation bar. Below it is a section titled 'Basic Settings' containing the following configuration options:

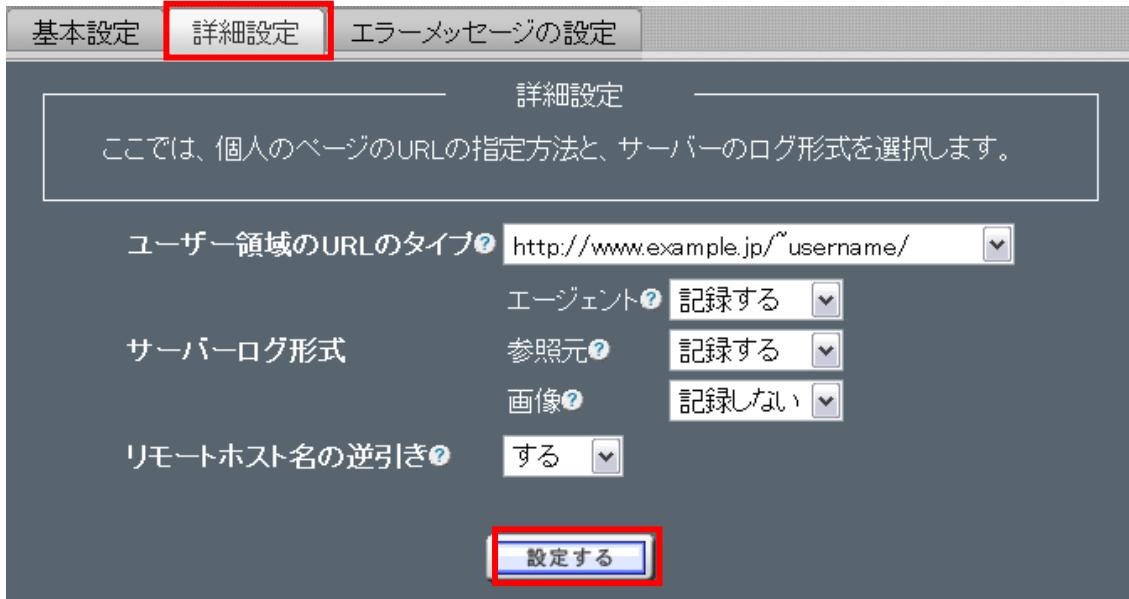
サーバー名	www example.jp
ポート番号	80
管理者メールアドレス	webmaster@example.jp
ドキュメントルート	/home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs/

At the bottom right of the settings area is a blue button labeled '設定する' (Set).

● 詳細設定

バーチャルドメインユーザーが Web を公開する際に利用される URL タイプを選択します。

運用ポリシーに合わせて選択をしてください。



「ユーザー領域の URL のタイプ」を選択します。

下記のいずれかの形式となります。

例：

http://example.com/~username/

http://example.com/users/username/

サーバーログに、エージェント/参照元/画像についてのアクセスを記録するか選択します。

- エージェント 閲覧している Web ブラウザのタイプを記録します。
- 参照元 表示したページがリンクされていた参照元 URL を記録します。
- 画像 表示したページに含まれる画像の URL を記録します。

リモートホスト名の逆引きについて選択します。

サーバーログで、「記録しない」を選択した場合やリモートホスト名の逆引きをしない場合

「アクセス統計」においてレポート内容が正しく表示されなくなる可能性があります。

逆引きを有効にした場合、Web サーバーのパフォーマンスが低下する場合があります。

お客様のサーバー内の bind にて named を設定、DNS を構築されている場合、逆引きは行えません。

弊社 Rimnet に DNS サーバーを依存している場合は、弊社既定の逆引きが行われます。

別途、逆引きのレコードを変更されたい場合はお問い合わせをして頂く必要があります。

「設定する」をクリックすると設定が完了します。

■エラーメッセージの設定

エラーメッセージの設定

アドレス(URL)が正しく指定されていなかった場合などに表示するエラーメッセージを指定することができます。

- ブラウザーの言語設定に合わせる
- エラーメッセージを日本語にする
- エラーメッセージを英語にする

エラーメッセージの場所を指定する②

ファイルが見つからない(404)

アクセス不許可(403)

サーバーエラー(500)

設定する

リクエストされた Web サイトのアドレスが間違っている場合に表示するエラーメッセージを設定します。
エラーメッセージの言語を選択します。

エラーメッセージで記録されたファイルの場所を指定する場合

- 1 :「エラーメッセージの場所を指定する」を選択
- 2 :ファイルの保存されているパスを、それぞれの項目に入力します。
- 3 :「設定する」をクリックして設定を終了します。

■ディレクトリ管理

Web サーバーで公開するディレクトリの設定を行います。

●CGI・SSI の設定

http://www.example.jp:80/ の設定

個別に設定をおこなうディレクトリに関する情報です。
「CGI」「SSI」などに関してはクリックすることで設定の変更が可能です。また、詳細な設定を行なう場合は「編集」ボタンを押してください。

CGI	SSI	絶対ディレクトリパス	アクション
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	/home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs/	編集 削除

▲ 設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。

設定する

CGI および SSI を設定する場合は「CGI」「SSI」をクリックします。

「許可」に設定されるとボタンが点灯した状態に変わります。

「設定する」をクリックして終了します。

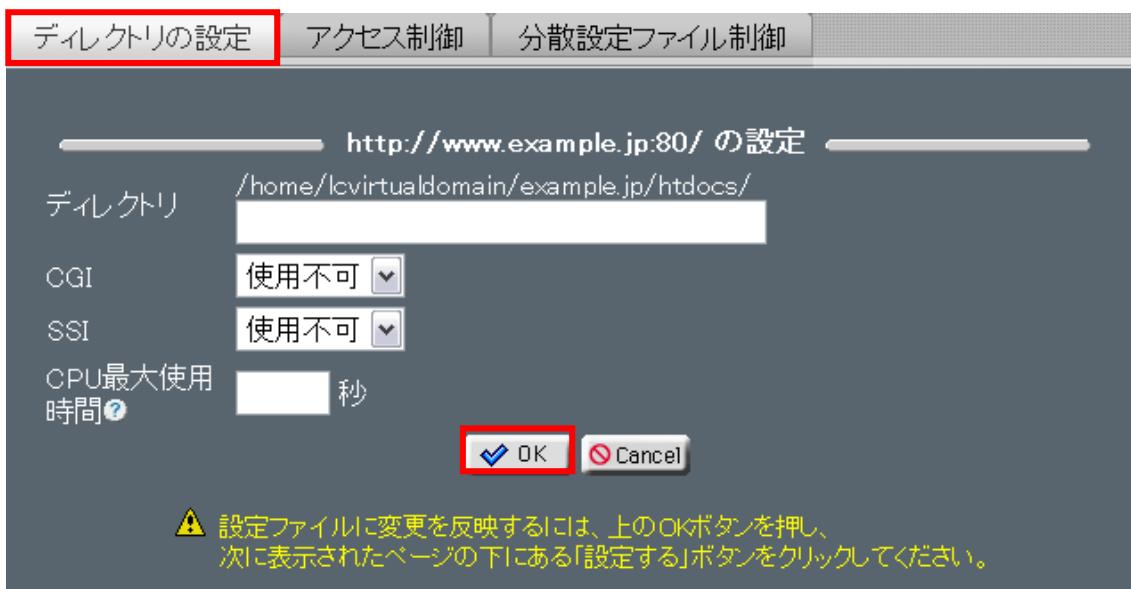
※拡張子.cgi のファイルのみが実行可能です。

●ディレクトリの設定編集

Web サーバーのディレクトリを編集します。

ディレクトリの一覧から、「編集」をクリックすると、

「ディレクトリの設定」画面が表示されます。



「ディレクトリ」にパスを入力します。

「CGI」「SSI」それぞれの、「使用可」「使用不可」を選択します。

「CGI」や「SSI」の CPU 使用時間を制限したい場合は「CPU 最大使用時間」に使用を許可する最大の時間を秒単位で設定します。

これは CGI などが実際に CPU を使用した時間であり、起動してからの経過時間ではないことに注意してください。

何も指定しない場合は無制限となります。

「OK」をクリックし、次に表示されたページ下の「設定する」をクリックして終了します。

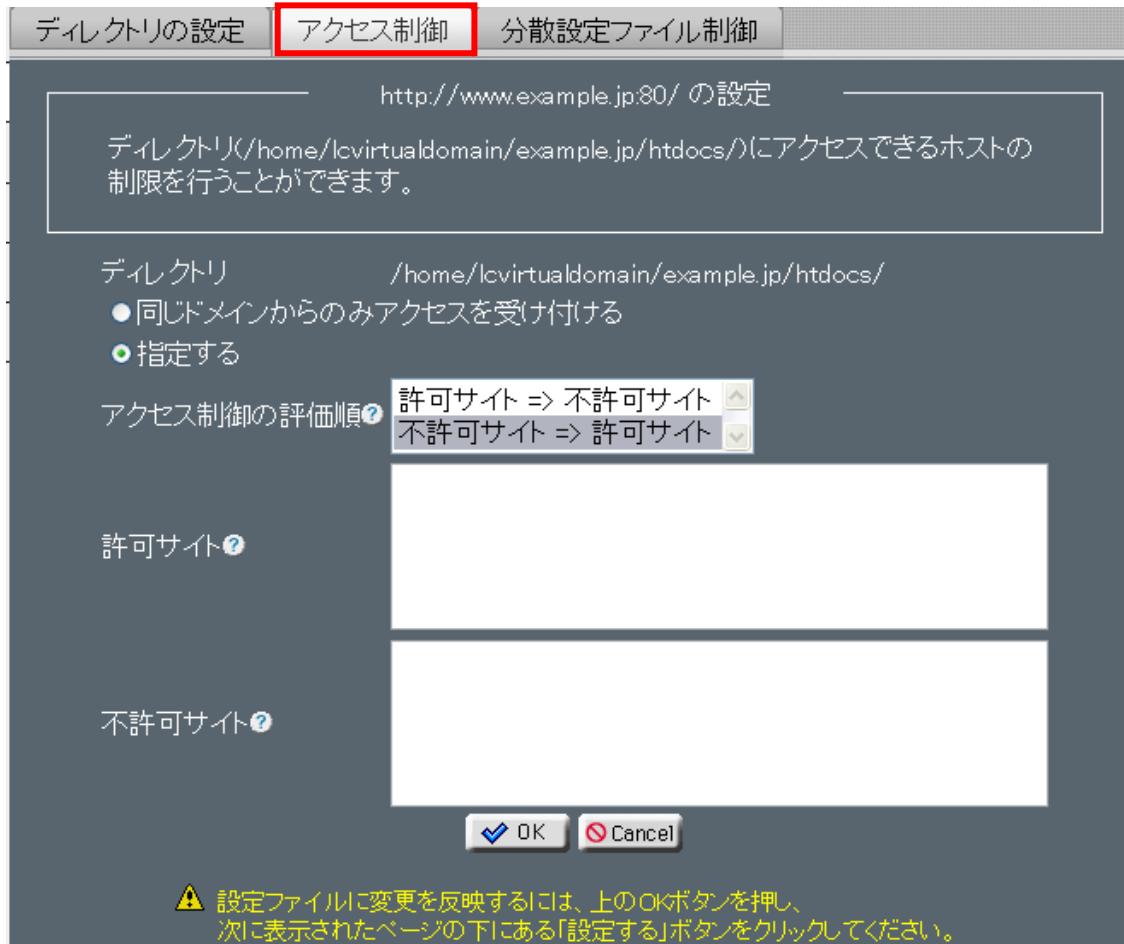
●アクセス制御

ディレクトリのアクセス制御設定をします。

ディレクトリの一覧から、「編集」をクリックします。

「ディレクトリの設定」画面が表示されます。

「アクセス制御」タブをクリックして設定画面を切り替えます。



同じドメインのみアクセスを許可する場合は、

「同じドメインからのみアクセスを受け付ける」を選択します。

制御対象を指定する場合は「指定する」を選択します。

「アクセス制御の評価順」メニューから、許可サイトと不許可サイト

どちらの評価を優先するか選択し、

「許可サイト」「不許可サイト」それぞれに制御対象となるアドレスを入力します。

「OK」をクリックし、次に表示されたページ下の「設定する」をクリックして終了します。

アクセス制御に入力できる形式

ホスト名	host.example.com
IPアドレス	192.168.0.1
IPアドレスの一部	192.168.0.
IPアドレス/ネットマスク	192.168.0.0/255.255.255.0
複数の指定	192.168.0.0./24 172.16.0.0/16 (それぞれスペースで区切るか改行)
全てを指定	all (全てのホストに対して設定します。)
ドメイン名	.example.com

●分散設定ファイル制御 (htaccess)

ディレクトリの AllowOverride ディレクティブを設定します。

AllowOverride ディレクティブは、分散設定ファイル(.htaccess というファイル名で知られています)によって設定の変更が可能なディレクティブを指定するものです。

ディレクトリの設定

[アクセス制御]

分散設定ファイル制御

分散設定ファイル制御

ディレクトリ /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs/ のAllowOverrideディレクティブを設定します。
AllowOverrideディレクティブは、分散設定ファイル(.htaccessというファイル名で知られています)によって設定の変更が可能なディレクティブを指定するものです。

このディレクトリに対して何も設定しない場合は、このディレクトリの上位(親)ディレクトリの設定を継承します。
上位ディレクトリの、現時点での有効な設定を以下に示します。

- ◆ **None:** 分散設定ファイルは使用できません。

設定方法を選択してください

- **None:** 分散設定ファイルを使用できないようにする
- **All:** 分散設定ファイルで設定できる全てのディレクティブを使用可能にする
- **このディレクトリには設定しない**
- **以下のリストから選択する**

AuthConfig: 認証に関するディレクティブを使用可能にする
 FileInfo: ドキュメントタイプを操作するディレクティブを使用可能にする
 Indexes: ファイル・ディレクトリ一覧に関するディレクティブを使用可能にする
 Limit: ホストへのアクセス制御に関するディレクティブを使用可能にする
 Options: 特定のディレクトリにおける機能を操作するディレクティブを使用可能にする

▲ 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、
次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

設定後、「OK」をクリックし、次に表示されたページ下の「設定する」をクリックして終了します。

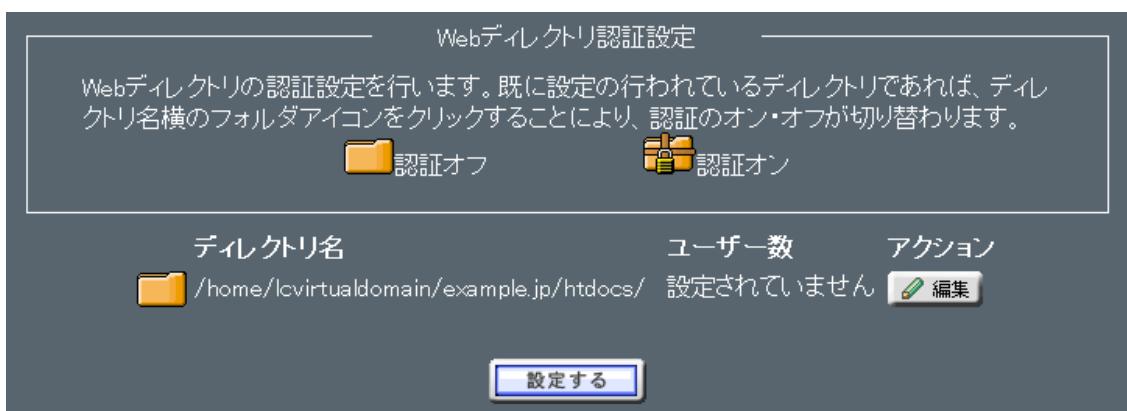
このディレクトリに対して何も設定しない場合は、

このディレクトリの上位(親)ディレクトリの設定を継承します。

■Web ディレクトリ認証設定

Web サーバーで公開するディレクトリの、認証設定を行います。

(アカウント・パスワードを要求するブラウザの設定)

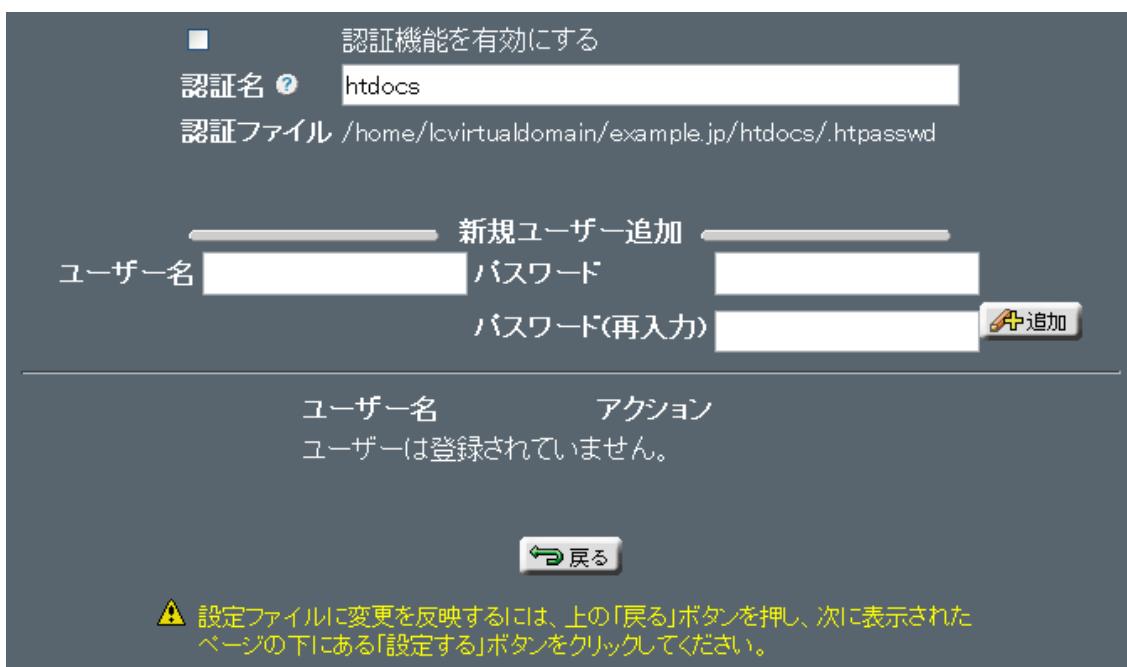


●ディレクトリ認証の設定

Web ディレクトリの一覧より、認証を設定するディレクトリの、

「編集」をクリックします。

認証内容の設定画面が表示されます。



●「認証名」に認証時に表示する内容を入力します。(例 : ENTER PASSWORD)

●認証の為の「ユーザー名」「パスワード」をそれぞれ入力

「追加」をクリックすると、設定が追加されます。

●追加した認証を使用する場合は、「認証機能を有効にする」を選択します。

●アクセス可能なユーザーを追加する場合は、

「ユーザー名」「パスワード」を入力し、「追加」をクリックして、追加します。

●追加されたユーザーのパスワードを変更する場合は、「編集」をクリックし
編集を行います。

●「OK」をクリックし、次に表示されたページ下の「設定する」をクリックして終了します。

●既に認証が設定されているディレクトリについては、ディレクトリー一覧画面で、
フォルダのアイコンをクリックすることにより認証の有効／無効を切り替えることが出来ます。

■ディスク使用量一覧

ユーザーの Web スペース使用量を一覧表示します。

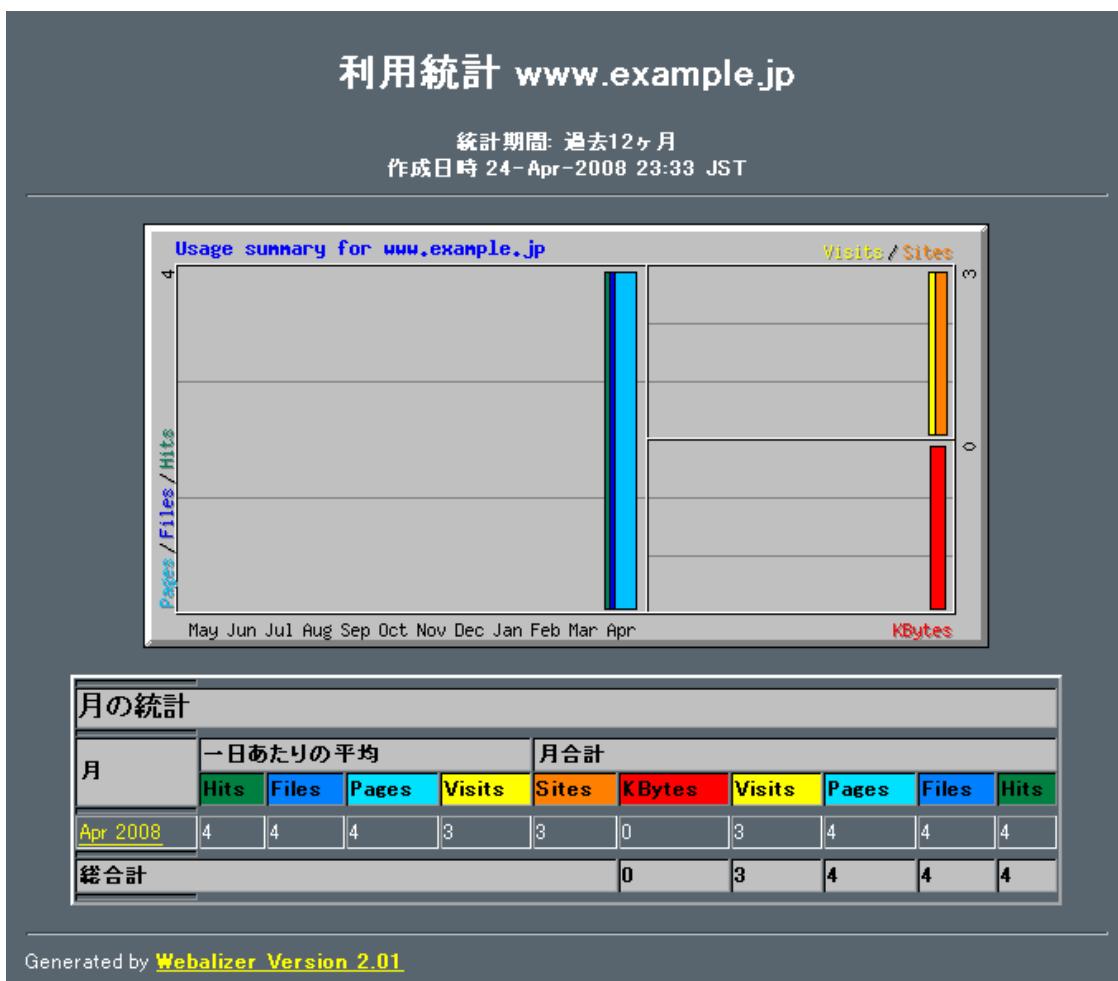
●ディスク使用量一覧

ディスク使用量一覧		
ユーザー毎のWebスペースのディスク使用量を表示します。		
ユーザーの検索	表示件数 10	<input type="button" value="検索"/>
	最小表示件数1	
全 2 件		全て表示
ユーザー名の頭文字 a - f		
ユーザー名	ディレクトリ	ディスク使用量(MBytes)
admin	/home/lcvirtualdomain/example.jp/public_html/	0.02
ftp	/home/lcvirtualdomain/example.jp/users/ftp/public_html/	0.01

■アクセス統計について

Web サーバーのログを解析し、解析結果を表示します。

月の統計、日ごとの統計、時間ごとの統計、ヒット数ランキング(URL、エントリー、Exit、サイト)、リファラー、検索文字列、ユーザーエージェント、国別統計が利用できます。



表示される指標の意味は以下の通りです。

Hits	エラーを含む、Webサーバーへの全アクセス数
Files	Hitsのうち、正常なアクセスの数
Pages	Hitsのうち、HTMLページの数
Visits	訪問者数（30分以内で同一のIPアドレスからのアクセスはカウントしない）
Sites	訪問者数（同一のIPアドレスからのアクセスはカウントしない）
KBytes	転送したデータ量

月の統計以外の統計については、各月のリンクをクリックすると表示されます。

利用統計 www.example.jp

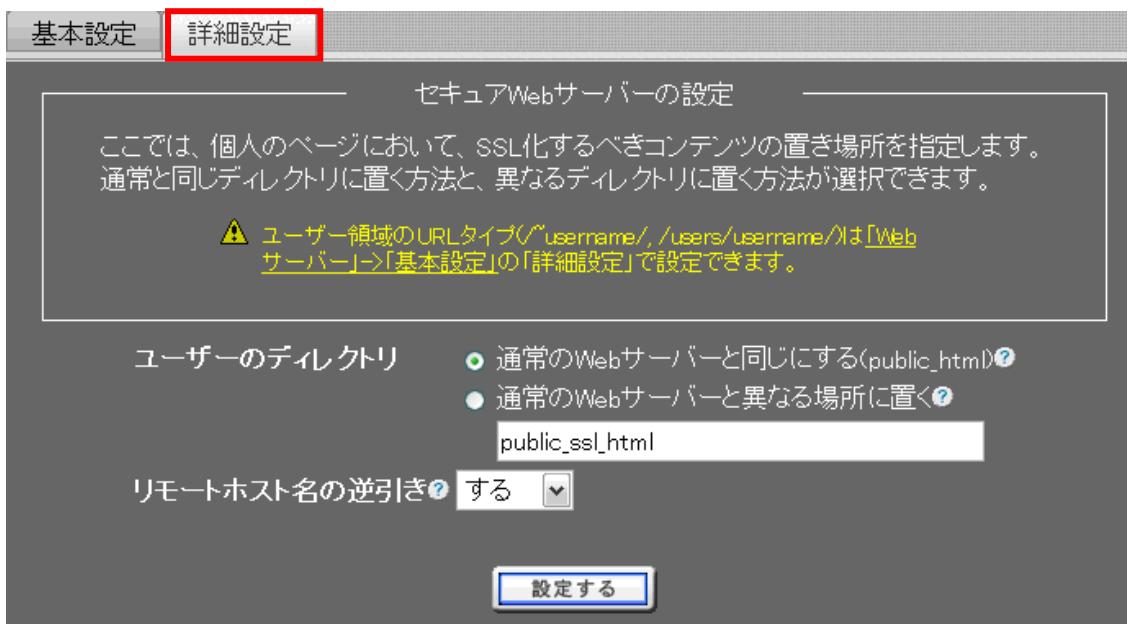
統計期間: April 2008
作成日時 24-Apr-2008 23:33 JST

[日ごとの統計] [時間ごとの統計] [URL] [エントリー] [Exit] [サイト] [リファラー] [検索文字列] [国]

月の統計 April 2008		
	平均	最大
全ヒット数	4	4
全ファイル数	4	4
合計 Pages	4	4
合計 Visits	3	3
全 KBytes数	0	0
個別サイト数	3	3
個別URL数	1	1
個別リファラー数	1	1
一時間あたりのヒット数	0	4
一日あたりのヒット数	4	4
一日あたりのファイル数	4	4
一日あたりのページ数	4	4
一日あたりの訪問者数	3	3
一日あたりのKBytes数	0	0
レスポンスコードごとのヒット数		
Code 200 - OK	4	4

1-4. セキュアWebサーバー

詳細設定



バーチャルドメインのユーザーが、SSL化されたWebを公開する際にhtmlファイルをアップロードする場所を指定できます。

デフォルトでは、通常のWebを公開するディレクトリと同じに設定されていますが、異なるディレクトリを利用したい場合は「通常のWebサーバーと異なる場所に置く」にチェックをして、ディレクトリを入力します。
「設定する」をクリックすると設定が完了します。

ユーザーごとに設定することはできません。全てのユーザーに対して有効になります。

■エラーメッセージの設定

運用ポリシーに合わせて選択をしてください。
「設定する」をクリックすると設定が完了します。

■CGI/SSIの設定について

HDE Controllerでは、ドキュメントルートの下
(/home/lcvirtualdomain/ドメイン名/htdocs/cgi-bin)にcgi-binディレクトリが設定済ですが、ディレクトリを事前に作成しておく必要がありますので、FTPクライアントソフトやファイルマネージャーを利用してhtdocsの下にcgi-binディレクトリを作成する必要があります。

上記以外のディレクトリやドキュメントルートに対してCGI/SSIを有効に設定するには、ディレクトリの管理/追加でおこないます。

■ディレクトリ管理

●CGI・SSIの設定

http://www.example.jp:80/ の設定

個別に設定をおこなうディレクトリに関する情報です。
「CGI」「SSI」などに関してはクリックすることで設定の変更が可能です。また、詳細な設定を行なう場合は「編集」ボタンを押してください。

CGI SSI 絶対ディレクトリバス アクション
CGI 許可 SSI 許可 /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs/

⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。

設定する

CGI および SSI を設定する場合は「CGI」「SSI」をクリックします。

「許可」に設定されるとボタンが点灯した状態に変わります。

「設定する」をクリックして終了します。

追加したディレクトリにホストの制限をかけない場合は、ホストの制限はデフォルトのままにしておきます。

設定の変更は、「ディレクトリ管理」画面より行なうことができます。

バーチャルドメインのユーザーにCGI/SSIを許可する設定は、リアルドメインからのみ行えます。

■ディレクトリ認証について

特定のディレクトリにアクセスした際に、ログイン名とパスワードの入力を求めるように設定するには「ディレクトリ認証設定」画面で行います。

Webディレクトリ認証設定

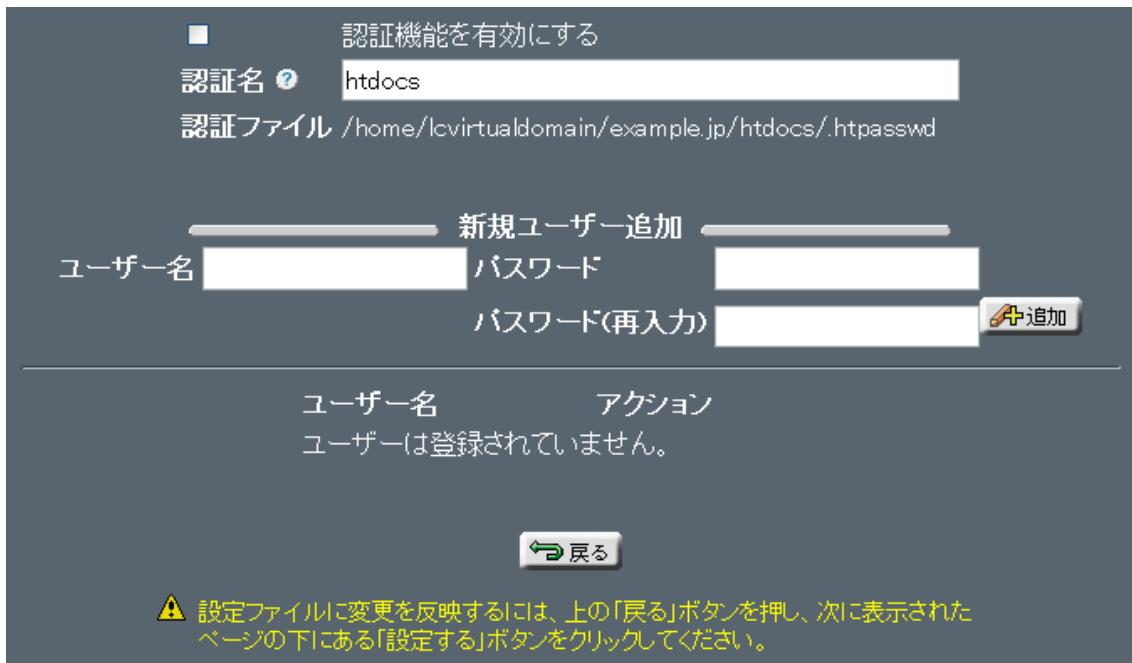
Webディレクトリの認証設定を行います。既に設定の行われているディレクトリであれば、ディレクトリ名横のフォルダアイコンをクリックすることにより、認証のオン・オフが切り替わります。

認証オフ 認証オン

ディレクトリ名 ユーザー数 アクション
 /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs/ 設定されていません

設定する

設定を行う方法



- 1 : 「ディレクトリ追加」画面で、認証を設定したいディレクトリを追加します。
- 2 : 「ディレクトリ認証設定」画面で、追加しておいたディレクトリ名のフォルダアイコンか「編集」をクリックします。
- 3 : 「認証機能を有効にする」にチェックをして、ユーザー名とパスワードを入力して「追加」をクリックします。
複数のユーザー名とパスワードを設定したい場合は、繰り返し追加してください。
- 4 : 追加が完了したら、「戻る」ボタンをクリックして「設定する」ボタンをクリックしてください。

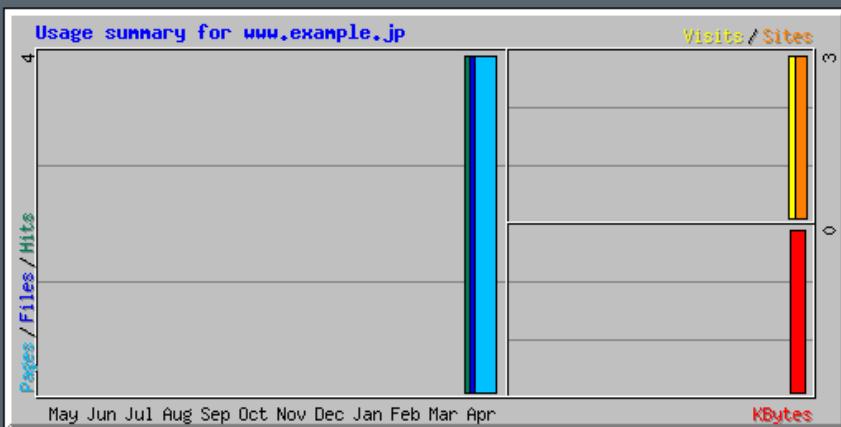
■アクセス統計について

Web サーバーのログを解析し、解析結果を表示します。

月の統計、日ごとの統計、時間ごとの統計、ヒット数ランキング(URL、エントリー、Exit、サイト)、リファラー、検索文字列、ユーザーエージェント、国別統計が利用できます。

利用統計 www.example.jp

統計期間: 過去12ヶ月
作成日時 24-Apr-2008 23:33 JST



月の統計										
月	一日あたりの平均				月合計					
	Hits	Files	Pages	Visits	Sites	KBytes	Visits	Pages	Files	Hits
Apr 2008	4	4	4	3	3	0	3	4	4	4
総合計					0	3	4	4	4	4

Generated by [Webalizer Version 2.01](#)

表示される指標の意味は以下の通りです。

Hits	エラーを含む、Webサーバーへの全アクセス数
Files	Hitsのうち、正常なアクセスの数
Pages	Hitsのうち、HTMLページの数
Visits	訪問者数 (30分以内で同一のIPアドレスからのアクセスはカウントしない)
Sites	訪問者数 (同一のIPアドレスからのアクセスはカウントしない)
KBytes	転送したデータ量

月の統計以外の統計については、各月のリンクをクリックすると表示されます。

利用統計 www.example.jp

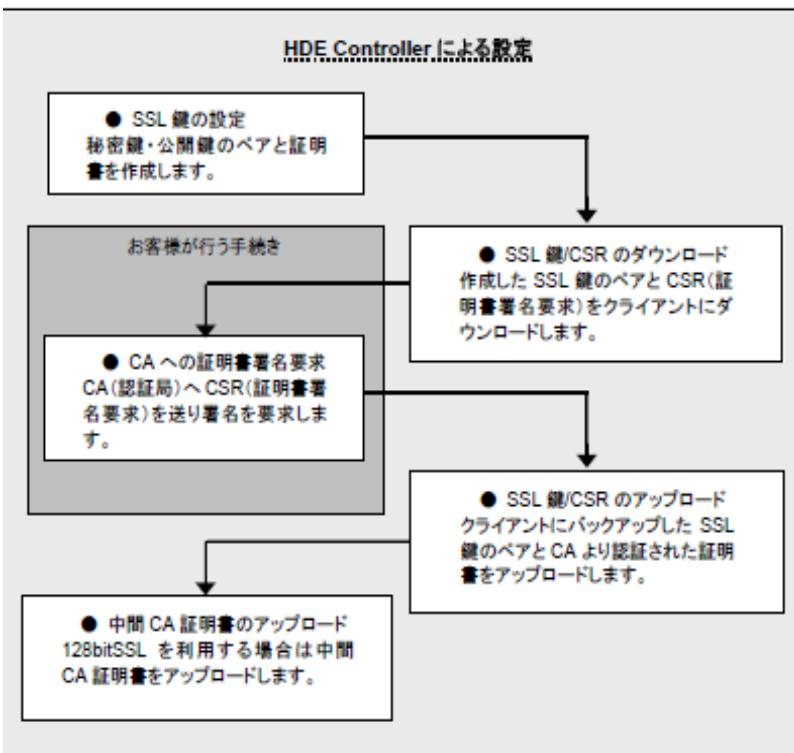
統計期間: April 2008
作成日時 24-Apr-2008 23:33 JST

[日ごとの統計] [時間ごとの統計] [URL] [エントリー] [Exit] [サイト] [リファラー] [検索文字列] [国]

月の統計 April 2008		
	平均	最大
全ヒット数	4	4
全ファイル数	4	4
合計 Pages	4	4
合計 Visits	3	3
全 KBytes数	0	0
個別サイト数	3	3
個別URL数	1	1
個別リファラー数	1	1
一時間あたりのヒット数	0	4
一日あたりのヒット数	4	4
一日あたりのファイル数	4	4
一日あたりのページ数	4	4
一日あたりの訪問者数	3	3
一日あたりのKBytes数	0	0
レスポンスコードごとのヒット数		
Code 200 - OK	4	4

1-5. 鍵と証明書（SSL）設定

● 設定の流れ



● 既にサイト証明書を取得している場合

「鍵・証明書のアップロード」よりアップロードを行ってください。

※重要※

● 新規にサイト証明書を取得する場合

以下の手順で証明書署名要求(CSR)を作成して、お申し込みください。

- 1 : 「Web サーバーの SSL キー設定」画面で、必要事項を入力
- 2 : 「新しい SSL 秘密鍵/公開鍵のペアと、証明書を作り直します。」にチェック
- 3 : 「設定する」をクリックします。
- 4 : 証明書署名要求(CSR)が作成されます。
「鍵・証明書のダウンロード」画面より証明書署名要求(CSR)をダウンロードして
証明書発行機関に申請してください。
- 5 : 証明書発行機関より発行されたサイト証明書を「鍵・証明書のアップロード」より
アップロードを行ってください。

●現在の証明書の情報

現在設定されている証明書の情報を表示されます。

鍵と証明書の情報 WebサーバーのSSLキー設定 鍵・証明書のダウンロード 鍵・証明書のアップロード 中間CA証明書アップロード

鍵と証明書の情報

ここでは、WebサーバーをSSL化するための秘密鍵/公開鍵のペア、および鍵の証明書の作成を行います。
鍵および証明書は、一度作成すれば証明書の有効期限が切れるまでは変更の必要はありません。
証明書の有効期限が切れたとき、あるいは、以下の設定に誤りがある場合のみ、新しい鍵および証明書の作成を行うようにしてください。

■ 現在の証明書の情報 ■

	受領者②	発行者②
国名	JP	JP
都道府県名	Tokyo	Tokyo
市町村名	Shibuya-ku	Shibuya-ku
組織名	HDE	HDE
部署名	HDE TEST CERTIFICATE PUBLISHER	HDE TEST CERTIFICATE PUBLISHER
サーバ名とドメイン名	example.com	example.com
E-mail アドレス	root@example.com	root@example.com

●SSL 鍵の設定

セキュア Web サーバー用の SSL 鍵を設定します。

鍵と証明書の情報 WebサーバーのSSLキー設定 鍵・証明書のダウンロード 鍵・証明書のアップロード 中間CA証明書アップロード

WebサーバーのSSLキー設定

WebサーバーへのアクセスをSSL化させるために秘密鍵/公開鍵および証明書の発行が必要です。例に従って正確に情報を入力してください。

		記入例
国名	② JP	JP
都道府県名	② Tokyo	Tokyo
市町村名	② Shibuya-ku	Shibuya-ku
組織名	② HDE	HDE
部署名	② HDE TEST CERTIFICATE PUBLISHER	Development
サーバ名とドメイン名	② example.com	www.hde.co.jp
E-mail アドレス	② root@example.com	webmaster@hde.co.jp

● 上記の情報を更新します。SSLキーペアと証明書が作成されることはありません。(デフォルト)
● 新しいSSL秘密鍵/公開鍵のペアと、証明書を作り直します。
● 上記の情報を用いて、証明書のみを作り直します(キーペアは変更されません)。

⚠ 新しい鍵を作成すると、ブラウザによってはWebサーバーにアクセスできなくなることがあります。この場合は、ブラウザに記録されている古い鍵を削除し、ブラウザを再起動してください。

Web サーバーへのアクセスを SSL 化させるため

この設定により秘密鍵／公開鍵および証明書の発行が必要です。

「国名／都道府県名／市町村名／組織名／サーバー名とドメイン名／E-mail アドレス」を
正しく入力します。

設定方法として、次表のいずれかから選択します。

●SSL 鍵の設定方法

チェックボックスの選択肢	動作の概要
上記の情報を更新します。SSL鍵のペアと証明書が作成されることはありません。	既に設定されている証明書の情報をのみを更新します。
新しいSSL秘密鍵／公開鍵のペアと、証明書を作り直します。	新規にSSL秘密鍵／公開鍵、証明書を作成します。 初めて設定する場合や証明書を変更する場合は必ず行います。
上記の情報を用いて、証明書のみを作り直します。	既に設定されている鍵／証明書情報を元に、証明書のみを作り直します。

●SSL 鍵/証明書/CSR ダウンロード

SSL鍵/証明書/証明書署名要求ダウンロード

サーバーに置かれている鍵/証明書をダウンロードしたり、CA(認証局)へ送る証明書署名要求をダウンロードすることができます。作成した鍵/証明書および証明書署名要求はここでダウンロードし、安全な場所に保管してください。

証明書署名要求(CSR)

秘密鍵

証明書

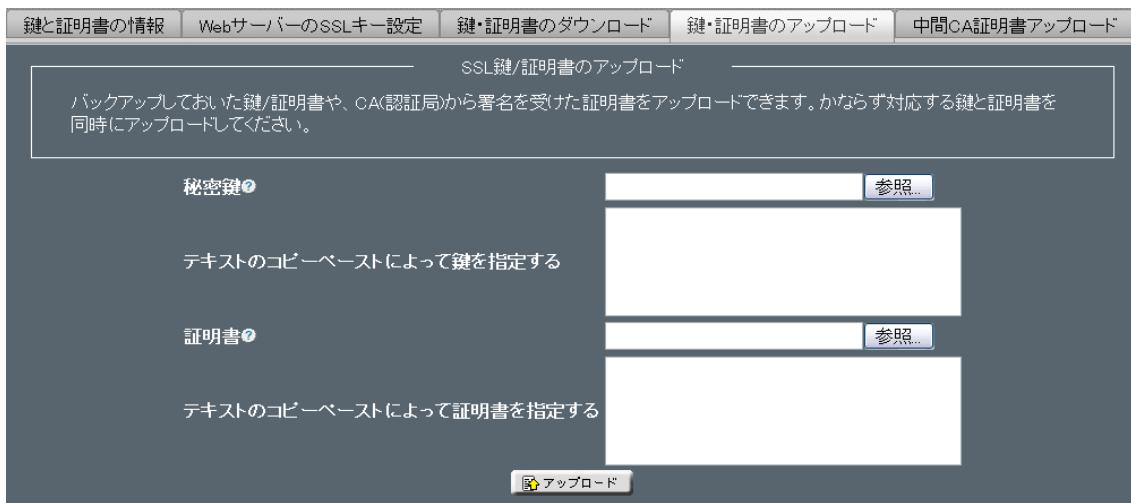
○SSL 鍵・証明書と CSR（証明書署名要求）をクライアントにダウンロードすることができます。

○CSR は CA（認証局）へ送付するためにダウンロードを行います。

○秘密鍵・公開鍵ペア、および、証明書はバックアップのためにダウンロードを行います。

○「ダウンロード」をクリックするとファイルをダウンロードすることができます。

●SSL 鍵/証明書アップロード



○SSL 鍵・証明書をクライアントからアップロードすることができます。

○アップロードする鍵、証明書は必ず対応するものを同時にアップロードします。

○ファイルの保存されているパスを、「秘密鍵／公開鍵ペア」「証明書」 それぞれに

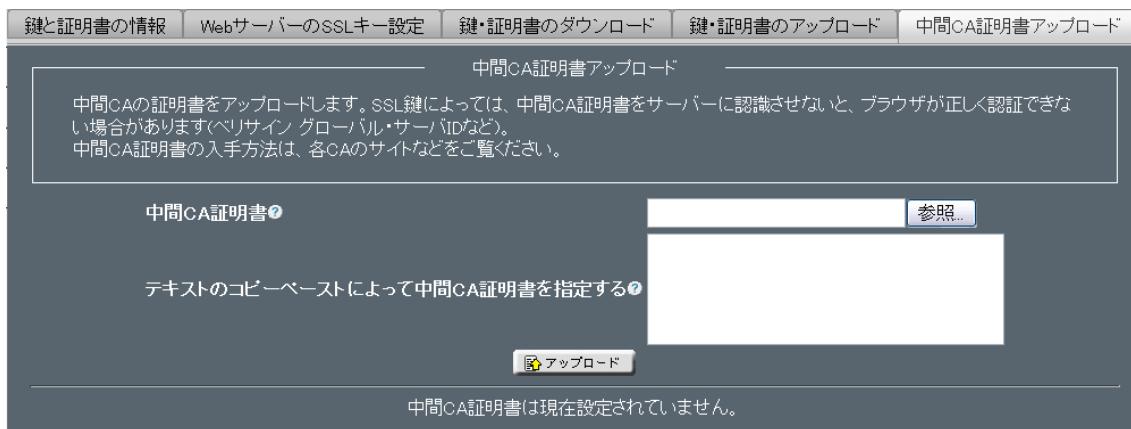
入力するか「参照」をクリックし直接ファイルが存在するディレクトリを指定します。

○テキストを直接入力することも可能です。

※ファイルを指定する方法と、直接入力する方法を同時に行うことはできません。

※パスフレーズ付きの秘密鍵は利用することができます。

●中間 CA 証明書アップロード



中間 CA 証明書をアップロードします。

Web ブラウザが正しく認証を行うために中間 CA 証明書が必要な SSL 鍵の場合、

必要になります。

(128bit SSL を利用する場合に必要になります。ベリサイングローバルサーバーIDなど)

1 – 6. クライアントソフト設定情報

メールサービス・

SMTP サーバー : mail. ドメイン名

POP/IMAP サーバー : mail. ドメイン名

POP/IMAP アカウント : ユーザー名@ドメイン名

(クライアントソフトによっては、@のかわりに%を指定することができます。)

POP/IMAP パスワード : 設定されているもの

FTP サービス

FTP サーバー : ftp. ドメイン名

アカウント : ユーザー名@ドメイン名

パスワード : 設定されているもの

リモートホスト初期ディレクトリ : public_html

1 - 7. メールサーバーの管理

バーチャルドメインのメールサーバーに関する各種設定を変更することができます。

管理画面の「メールサーバー」をクリックし、メールサーバー設定画面に入ります。

●スプール容量制限

サブメニューから、「スプール容量制限」メニューをクリックします。

スプール制限容量の設定

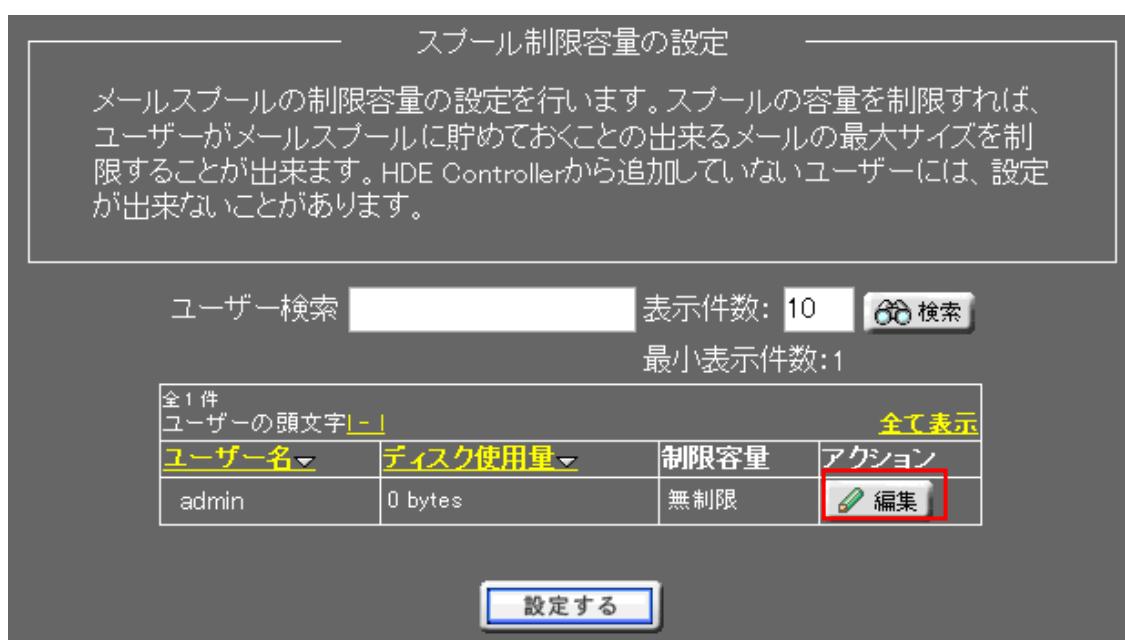
メールスプールの制限容量の設定を行います。スプールの容量を制限すれば、ユーザーがメールスプールに貯めておくことの出来るメールの最大サイズを制限することが出来ます。HDE Controllerから追加していないユーザーには、設定が出来ないことがあります。

ユーザー名	ディスク使用量	制限容量	アクション
admin	0 bytes	無制限	 編集

表示件数: 10 検索

最小表示件数: 1

設定する



スプール制限容量の設定画面には、ユーザーの一覧および現在のスプール容量制限値が表示されています。

画面に表示しきれなかったユーザーは、頭文字検索および文字列検索により表示させることができます。

ユーザーリスト右側の「編集」をクリックすると、「メールスプール容量設定」画面に入り、対象ユーザーのメールスプール容量を設定することができます。



制限容量をメガバイト単位で指定します。

特に制限をかけない場合

「メールスプールに容量制限をかけない」チェックボックスにチェックを入れます。

設定が終了しましたら、「OK」をクリックして「スプール制限容量の設定」画面に戻ります。

スプール制限容量の設定

メールスプールの制限容量の設定を行います。スプールの容量を制限すれば、ユーザーがメールスプールに貯めておくことの出来るメールの最大サイズを制限することができます。HDE Controllerから追加していないユーザーには、設定が出来ないことがあります。

ユーザー検索 表示件数: 10 検索

最小表示件数: 1

全1件 ユーザーの頭文字 [-]				全て表示
ユーザー名	ディスク使用量	制限容量	アクション	
admin	0 bytes	無制限	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="設定する"/>

「設定する」をクリックすると、設定が有効となります。

●スプール容量制限一括設定

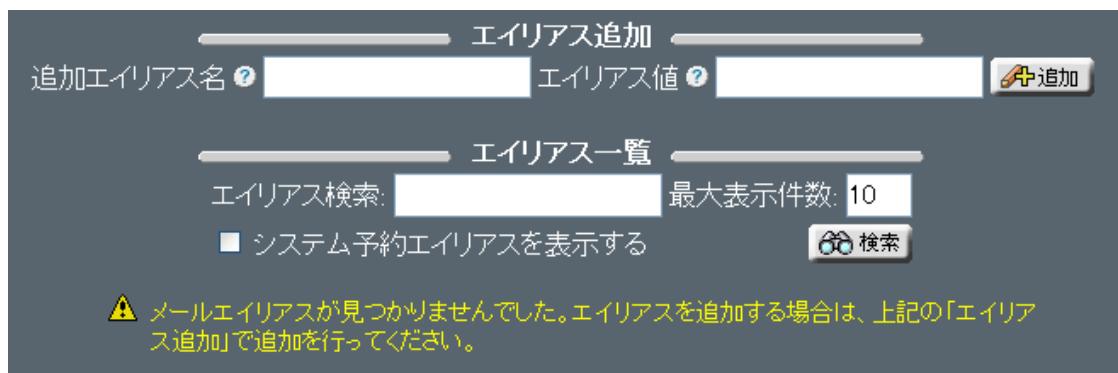
複数のユーザーにすぐ設定を行う場合は、こちらから行います。

変更を行うユーザーにチェックを入れ、値を設定します。

「設定する」をクリックし、設定を終了します。

●エイリアス設定

サブメニューから、「エイリアス設定」メニューをクリックします。



メールアドレスのエイリアス(別名)を設定することができます。

追加を行う別名を「追加エイリアス名」に入力し、実際のメール配達先となる

メールアドレスを「エイリアス値」に入力し、「追加」をクリックすると

下部のリストに追加されます。

設定値の削除・編集を行うには、リスト右側の「削除」「編集」をクリックします。



リストの編集が終了しましたら、「設定する」をクリックするとエイリアス値が有効となります。

■送信者認証設定

SPF や DomainKeys といった送信者認証技術を利用し、アドレスを詐称したメールを判定することができます。

【SPF】

メールを受信する。

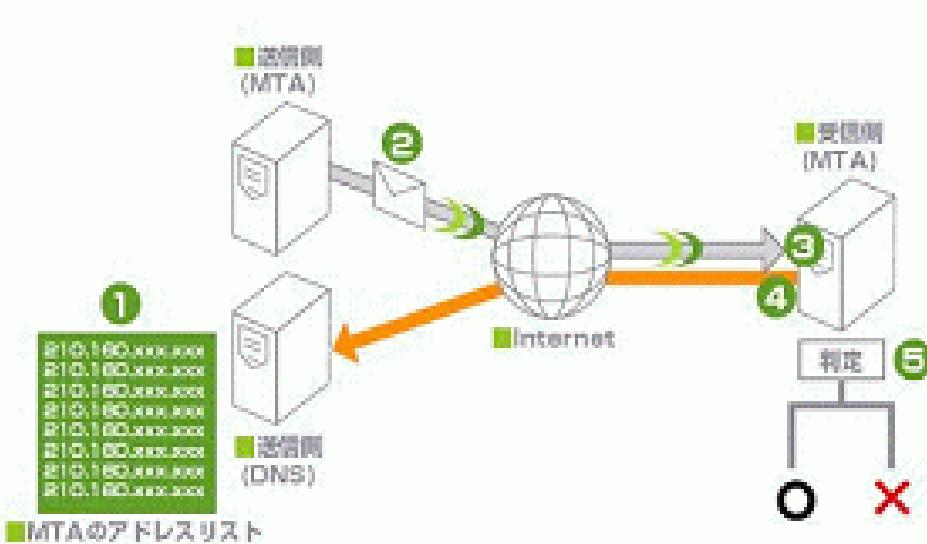
DNS サーバーに登録されているドメインと送信元ドメインの正規のメールサーバー

情報（SPF 情報）を取得。

送信元ドメインの正規のメールサーバーから送信されたものであるか否かを判断する。

SPF の仕組み

1. あらかじめ送信側が自分のドメインの MTA（メールサーバー）のリストを DNS サーバーの特殊なレコード (TXT) に登録しておく。
(※正確にはリストの参照先とポリシーを登録する)
2. 送信側 MTA は通常通りにメールを送信する。
3. 受信側 MTA は、送信してきた MTA の IP アドレスを控える。
4. 受信側 MTA が、受け取ったメールアドレスの From: についているドメイン名の DNS に問い合わせ、TXT レコードを受け取る。
5. 受信側 MTA は、TXT レコードをもとに、送信側 MTA がそのドメインのものかどうかを確認し、無ければ送信者詐称と判断する。



【DomainKeys】

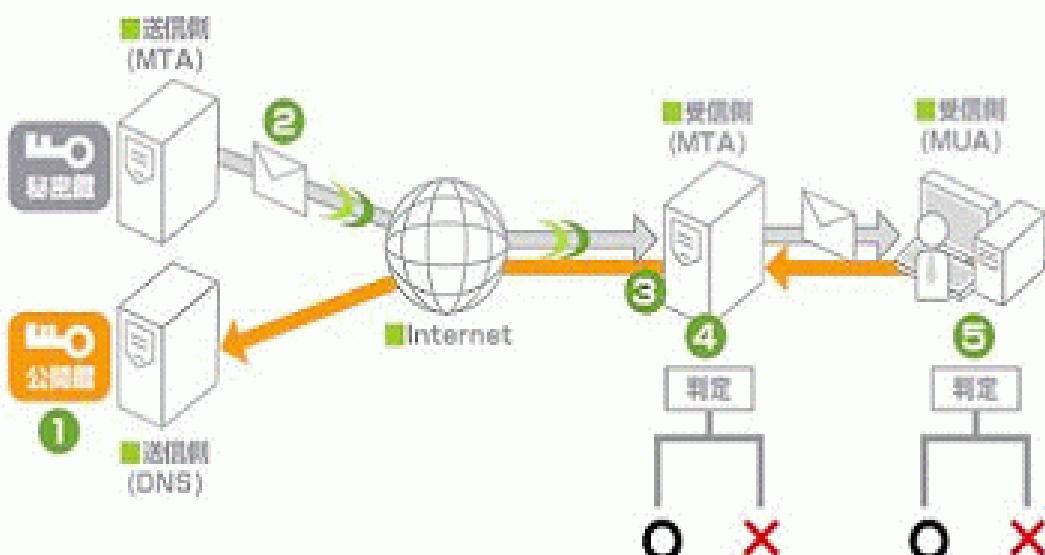
送信されるメールに暗号化された電子署名がされる。

受信側がその内容を確認し、正しければ受信を許可する技術。

フィッシングメールの場合、正しい電子署名を添付できないため、受信時に判別することができます。

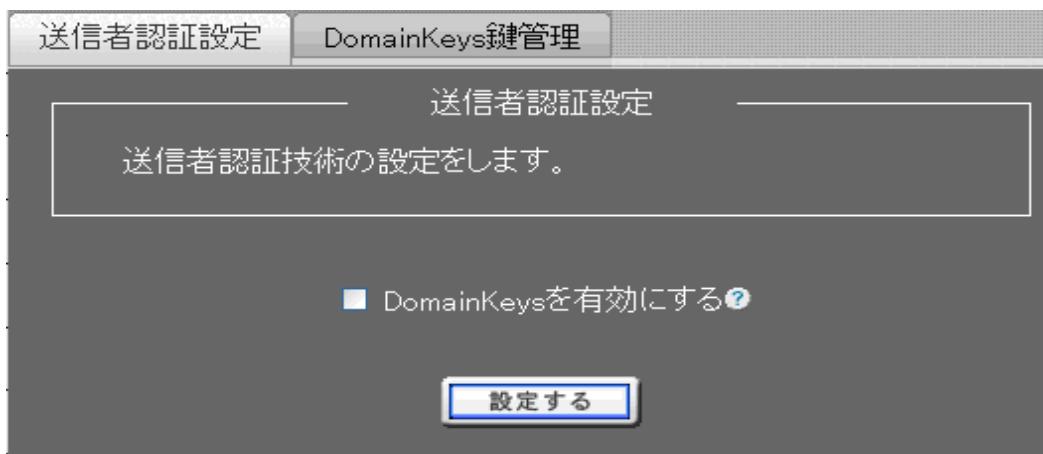
DomainKeys の仕組み

1. あらかじめ送信側が自分のドメインの公開鍵を DNS サーバーの特殊なレコード (TXT) にテキスト形式で 登録しておく。
2. 送信側 MTA (メールサーバー) はメールを送信する際、秘密鍵と本文で署名を計算し、メールヘッダに埋め込む。
3. 受信側 MTA が、受け取ったメールアドレスの From:についているドメイン名の DNS に問い合わせ、公開鍵を受け取る。
4. 受信側 MTA は、公開鍵で署名を検証し、真正性を確認する。
5. 必ずしもサーバーベースの技術ではないので、MUA(メールソフト)でも真正性の確認をすることができる。



●送信者認証設定

送信者認証技術の利用設定を行います。



●SPFを利用する場合

管理者により SPF が有効に設定されている場合、バーチャルドメインでも SPF を利用することができます。
ここで設定する必要はありません。

管理者により SPF が有効に設定されている場合、受信したメールに Received-SPF ヘッダが付加されます。

自サーバーのドメインが正しいものと証明するには、

DNSサーバーのテキストフィールドに以下のSPF情報を追加してください。

(自ドメインがexample.comの場合の一例)

example.com. IN TXT "v=spf1 a -all"

●DomainKeysを利用する場合

「DomainKeysを有効にする」にチェックを入れ、「設定する」を押してください。

このドメインのマスターネームサーバーになっていれば、「設定する」を押したときに、秘密鍵・公開鍵が生成され、DNSにDomainKeys情報が自動的に登録されます。

このドメインのマスターネームサーバーになっていなければ、Domainkeys鍵管理画面で公開鍵をダウンロードして、DNSサーバーに以下のようなテキストフィールドを追加してください。（例：example.com、公開鍵部は先頭・末尾行と改行を削除してください。）

default._domainkey.example.com. IN TXT "t=y; k=rsa; p=公開鍵"

DomainKeysを有効にすると、リアルドメインの「アクセス制御」で追加したIPアドレスから送信したメールにのみDomainKey-Signatureヘッダが付加（署名）されます。それ以外のIPアドレスから送信したメールにはDomainKey-Statusヘッダが付加（検証）されます。

●DomainKeys鍵管理

DomainKeysで利用する秘密鍵のアップロードと、

登録されている秘密鍵・公開鍵のダウンロードを行うことができます。

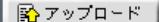
送信者認証設定 | DomainKeys鍵管理

DomainKeys鍵管理

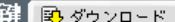
DomainKeysで利用する秘密鍵の更新や、秘密鍵・公開鍵のダウンロードを行うことができます。

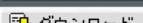
秘密鍵のアップロード 

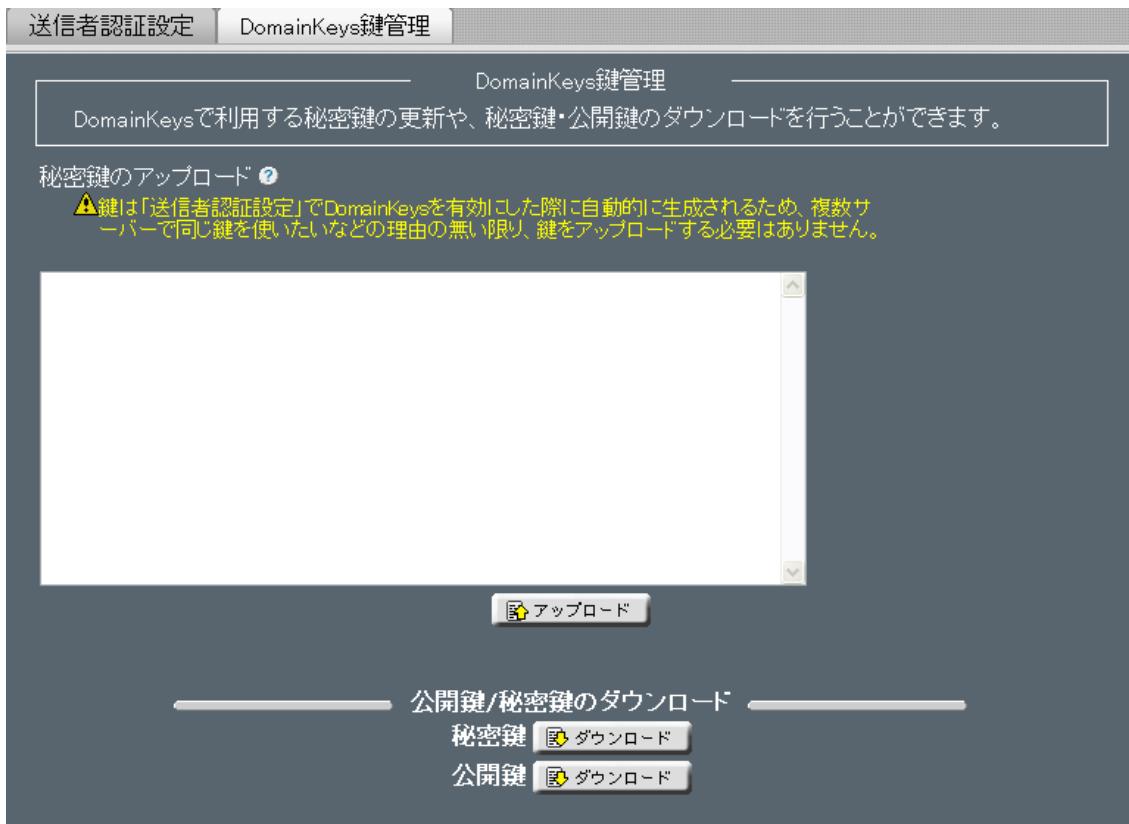
▲鍵は「送信者認証設定」でDomainKeysを有効にした際に自動的に生成されるため、複数サーバーで同じ鍵を使いたいなどの理由の無い限り、鍵をアップロードする必要はありません。

 アップロード

公開鍵/秘密鍵のダウンロード

秘密鍵  ダウンロード

公開鍵  ダウンロード



秘密鍵のアップロード

ダウンロードした秘密鍵の内容など RSA 密密鍵の平文テキスト (RSA/SHA-1, 1024 bit) をテキストエリアに貼り付け、「アップロード」をクリックします。

秘密鍵をアップロードすると、公開鍵が生成され、DNS 情報の書き換えが行われます。

鍵は「送信者認証設定」で DomainKeys を有効にした際に自動的に生成されるため、複数サーバーで同じ鍵を使いたいなどの理由の無い限り、鍵をアップロードする必要はありません。

秘密鍵・公開鍵のダウンロード

現在登録されている秘密鍵・公開鍵をダウンロードすることができます。

1-8. メーリングリスト

■メーリングリストの管理

HDE Controller ではメーリングリストの作成・管理をブラウザ上から簡単に行うことができます。

HDE Controller ではメーリングリスト管理ソフトウェアとして majordomo を用いて管理、設定を行います。

●既に追加されたメーリングリストの設定内容やメンバーの追加・削除を行う場合

「メーリングリスト管理」をクリックします。

メーリングリスト検索 表示件数: 10 検索
最低表示件数: 1

名前	コメント	登録数	投稿数	アクション	メンバー一覧
sample	sample	1	0	編集 削除 ダウンロード	全て表示

▲ 設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。

設定する

メーリングリストが一覧で表示されます。

名前、コメント、登録数、投稿数をクリックすると、クリックした項目で
メーリングリストの一覧をソートして表示されます。

メーリングリストを削除する場合は、メーリングリスト一覧画面において、
削除したいメーリングリストの「削除」をクリックします。

「設定する」をクリックして削除を完了させます。

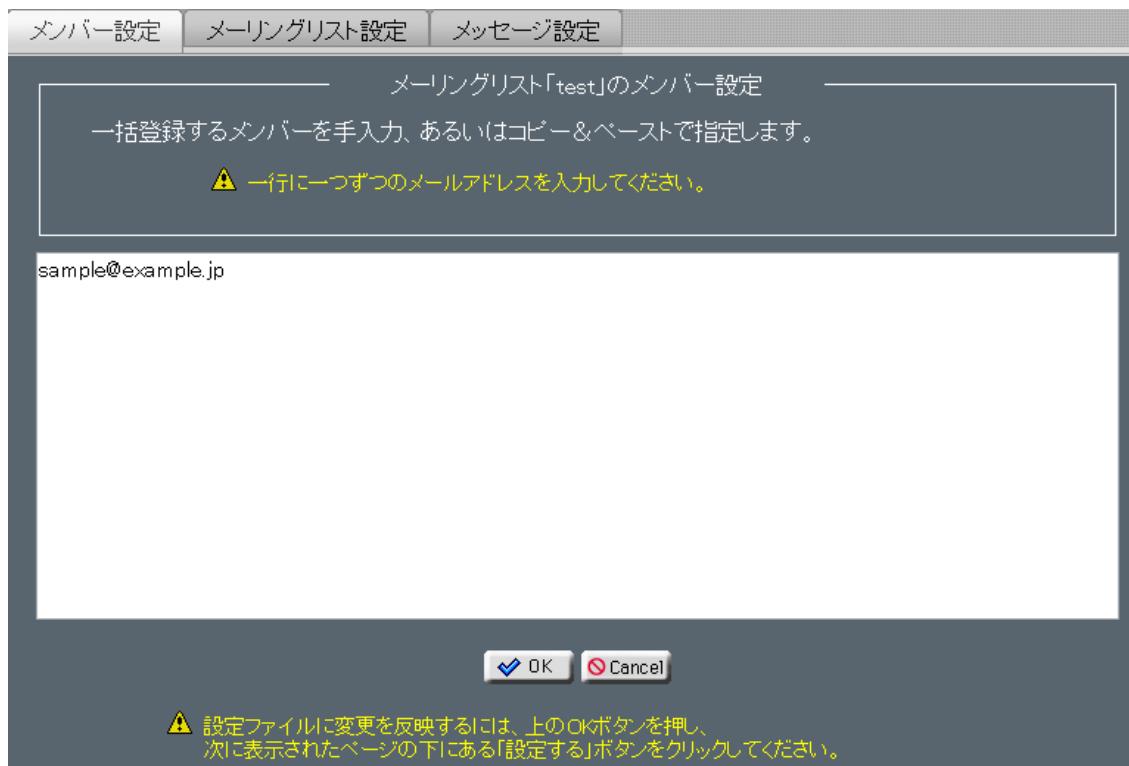
●メーリングリストの設定を変更する場合

変更するメーリングリストの「編集」をクリック

次に表示される画面で、「メンバー設定」、「メーリングリスト設定」、「メッセージ設定」の各タブを必要に応じて切り替えながら変更します。

変更し終わったら「OK」をクリック

元の画面に戻った後、「設定する」をクリックして変更を完了。



1つのメールアドレスにつき、1行で入力してください。

入力後に、「OK」をクリックします。

●メーリングリスト設定

メーリングリストの設定内容を変更するには、「メーリングリスト設定」タブをクリックします。

メンバー設定 メーリングリスト設定 メッセージ設定

メーリングリスト設定

メーリングリスト名	<input type="text" value="test@example.jp"/>
コメント	<input type="text"/>
管理者メールアドレス	<input type="text" value="sample@example.jp"/> <input checked="" type="checkbox"/> パスワードを変更する。
管理用パスワード	<input type="password"/> (再入力) <input type="password"/>
投稿者制限	<input checked="" type="radio"/> メンバーのみ <input type="radio"/> 管理者のみ <input type="radio"/> 制限なし
返信先メールアドレス	<input type="text" value="test@example.jp"/> ⚠ 空白の場合、投稿者のメールアドレスになります。
最大メッセージサイズ	<input checked="" type="radio"/> 制限なし <input type="radio"/> 制限あり <input type="text"/> バイトまで
アーカイブ	<input checked="" type="radio"/> 保存しない <input type="radio"/> 保存する
件名プレフィックス	<input type="text" value="test"/> <input checked="" type="checkbox"/> 通し番号を追加する
通し番号開始値	<input checked="" type="radio"/> 変更しない <input type="radio"/> 変更する <input type="text" value="1"/>

コマンドメールの設定

参加方法	<input type="text" value="本人のみ"/> <input checked="" type="checkbox"/> 参加確認を行う
退会方法	<input type="text" value="本人のみ"/>
参加者一覧取得	<input type="text" value="メンバーのみ"/>
参加リスト一覧取得	<input type="text" value="メンバーのみ"/>

⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、上のOKボタンを押し、
次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

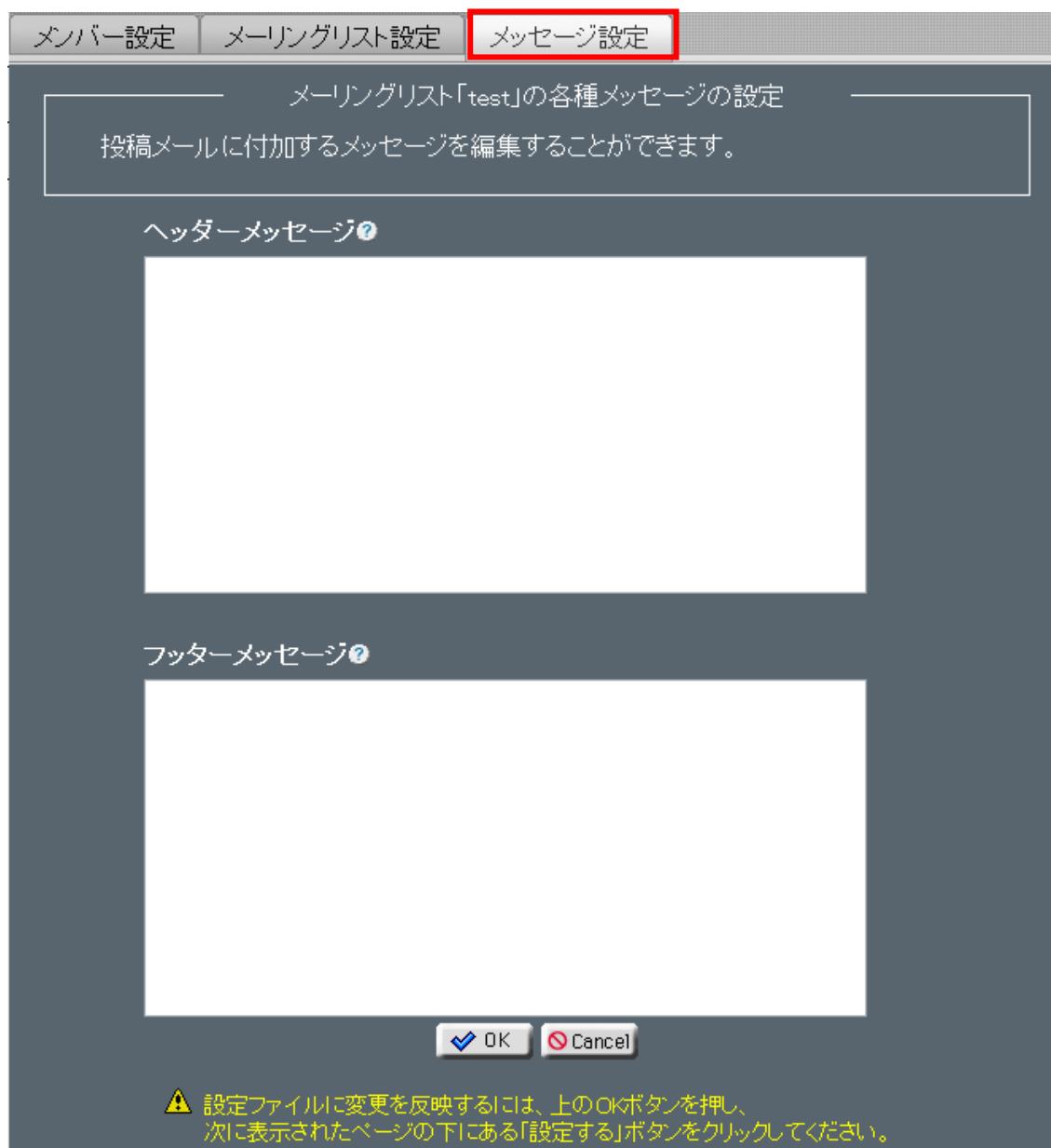
変更可能な項目のそれぞれの説明は、「メーリングリスト作成」の説明をご参照ください。

変更後に、「OK」をクリックします。

●メッセージ設定

メーリングリストへの投稿メールに特定のメッセージを自動的に付加したい場合は、

「メッセージ設定」タブをクリックして付加メッセージを設定します。



●ヘッダーメッセージ

投稿メールのメール本文の先頭に自動的に付加されるメッセージを設定します。

●フッターメッセージ

投稿メールのメール本文の末尾に自動的に付加されるメッセージを設定します。

●設定後、「OK」をクリックします。その後、表示される画面の「設定する」

をクリックすることで、変更が反映されます。

●メーリングリストの作成

管理画面の「メーリングリスト」をクリックし、メニューの

[メーリングリスト追加]をクリックします。

メーリングリスト作成

メーリングリスト名	<input type="text"/> @ example.jp
コメント	<input type="text"/>
管理者メールアドレス	<input type="text"/>
管理用パスワード	<input type="password"/> (再入力) <input type="password"/>
投稿者制限	<input checked="" type="radio"/> メンバーのみ <input type="radio"/> 管理者のみ <input type="radio"/> 制限なし
返信先メールアドレス	<input type="text"/> ⚠ 空白の場合、投稿者のメールアドレスになります。
最大メッセージサイズ	<input checked="" type="radio"/> 制限なし <input type="radio"/> 制限あり <input type="text"/> バイトまで
アーカイブ	<input checked="" type="radio"/> 保存しない <input type="radio"/> 保存する
件名プレフィックス	<input type="text"/> <input checked="" type="checkbox"/> 通し番号を追加する
通し番号開始値	<input checked="" type="radio"/> 変更しない <input type="radio"/> 変更する <input type="text"/>

コマンドメールの設定

参加方法	<input type="text"/> 本人のみ <input type="button" value="▼"/> <input type="checkbox"/> 参加確認を行う
退会方法	<input type="text"/> 本人のみ <input type="button" value="▼"/>
参加者一覧取得	<input type="text"/> メンバーのみ <input type="button" value="▼"/>
参加リスト一覧取得	<input type="text"/> メンバーのみ <input type="button" value="▼"/>

 キャンセル

 進む

あらかじめ、「テンプレート設定」でテンプレートを作成している場合は、その設定値が初期値として画面上に表示されます。

「メーリングリスト作成」画面では、下記の項目を設定することができます。

●メーリングリスト名

作成したいメーリングリストの名前を入力します。

既存のメーリングリスト名、ユーザーカウント名、または半角英数字以外を指定することはできません。

●コメント

このメーリングリストの簡単な説明を設定します。

全角英数字や半角カタカナを指定した場合、それぞれ半角英数字、全角カタカナに変更され設定されます。

この項目は、できるだけ半角英数字のみで設定してください。

●管理者メールアドレス

このメーリングリストの管理者のメールアドレスを設定します。

参加や退会の承認が必要なメーリングリストを作成した場合は、subscribe/unsubscribe
コマンドによる申し込みをすると、まずこのメールアドレスに承認確認のメールが
送られます。

●管理用パスワード

コマンドメールによる承認操作などに利用されるパスワードです。

●投稿者制限

このメーリングリストに投稿を許可するユーザーを設定します。

通常は、「メンバーのみ」を選択してください。

「管理者のみ」を選択するとニュース配信型のリストを作成することができます。

●返信先メールアドレス

このメーリングリストの投稿メールに対するReply-To ヘッダのアドレスを設定します。

通常は、メーリングリストと同じアドレスを指定します。

空白で設定した場合は、投稿メールの送信者になります。

●最大メッセージサイズ

このメーリングリストの投稿メールのメッセージサイズを制限します。

制限したい場合は、そのサイズをバイトで指定してください。

●アーカイブ

このメーリングリストの投稿メールのメッセージアーカイブを保存するかどうかを設定
します。

アーカイブを保存すると、コマンドメールで過去のメッセージを取り寄せることが可能ですが、トラフィックの多い
メーリングリストの場合はディスクを消費しますので、用途に合わせて設定してください。

●件名プレフィックス

投稿メールの件名の先頭に付与する文字列を指定します。

例えば、testml を指定すると [testml] という文字列が追加されます。

「通し番号を追加する」を選択すると、[testml:00010] のように件名プレフィックスの
後ろに通し番号が追加されます。

●通し番号開始値

投稿メールを処理するごとに加算される通し番号の開始値を 0 から 99999 の範囲で指定してください。

通常、変更する必要はありません。

作成時「変更しない」を選択すると、1 が指定されたものとみなされます。

●コマンドメールの動作

以下の設定は、コマンドメールの動作を特定します。

メーリングリストの用途に合わせて、適切に設定してください。

●参加方法

subscribe コマンドによるリスト参加方法の設定を行います。

「本人のみ」を選択した場合、コマンドメール送信者のアドレスのみ参加できます。

「管理者の承認が必要」を選択した場合、管理者の承認を受けた後参加できます。

「制限なし」を選択した場合、他人のアドレスを無条件で参加させることができます。

「参加確認を行う」を選択すると、参加前、登録メールアドレスに参加確認メールが送信されます。

subscribeによる参加の方法は、メール本文に下記内容を記載し、majordomo@ ドメイン名 宛てに送信します。

subscribe メーリングリスト名 [登録メールアドレス]

●退会方法

unsubscribe コマンドによるメーリングリスト退会方法の設定を行います。

「本人のみ」を選択した場合、コマンドメール送信者のアドレスのみ退会できます。

「管理者の承認が必要」を選択した場合、管理者の承認を受けた後退会できます。

「制限なし」を選択した場合、他人のアドレスを無条件で退会させることができます。

unsubscribeによる退会の方法は、メール本文に下記内容を記載し、majordomo@ ドメイン名 宛てに送信します。 unsubscribe メーリングリスト名 [登録メールアドレス]

●参加者一覧取得

who コマンドによる参加者一覧取得の制限を設定します。

「可能」を選択した場合、誰もがこのメーリングリストのメンバーを検索できます。

「不可」を選択した場合、誰もこのメーリングリストのメンバーを検索できません。

「メンバーのみ」を選択した場合、メンバーのみこのメーリングリストのメンバーを検索できます。

whoによるメンバー一覧を取り寄せる方法は、メール本文に下記内容を記載し、majordomo@ ドメイン名 宛てに送信します。 who メーリングリスト名

●参加リスト一覧取得

which コマンドによる参加リスト一覧取得の制限を設定します。

「可能」を選択した場合、誰もがこのメーリングリスト名を検索できます。

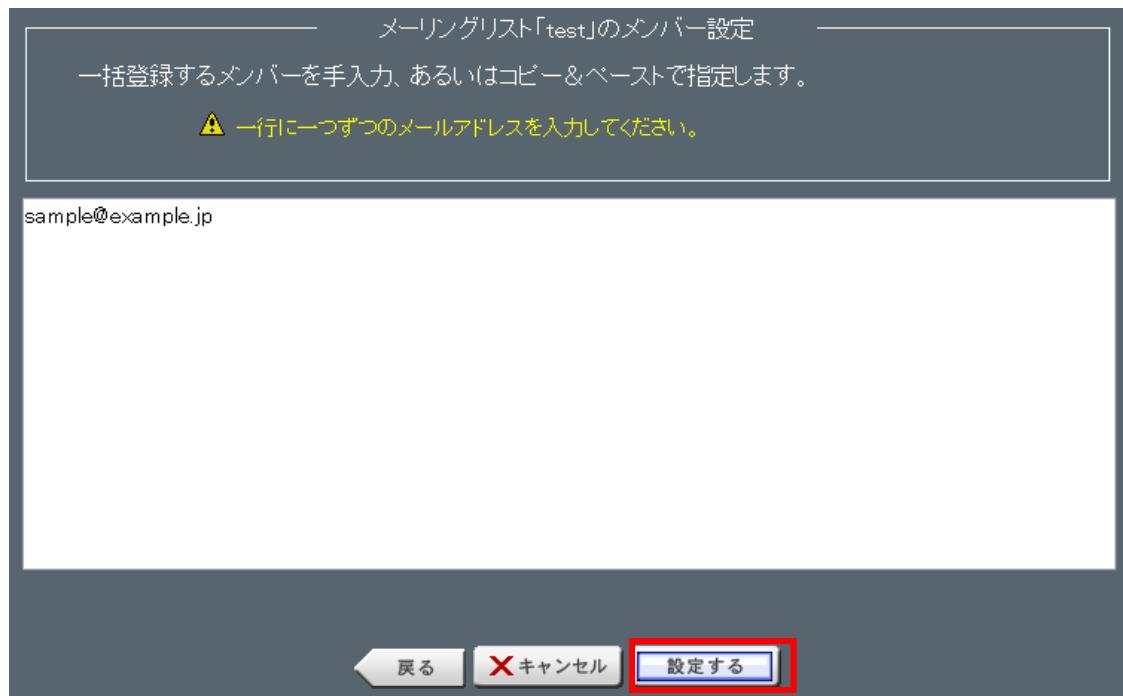
「不可」を選択した場合、誰もこのメーリングリスト名を検索できません。

「メンバーのみ」を選択した場合、メンバーのみこのメーリングリスト名を検索できます。

但し、「投稿者制限」を「管理者のみ」にした場合は、検索の対象となりません。

whichによる参加メーリングリストを取り寄せる方法は、メール本文に下記内容を記載し、majordomo@
ドメイン名宛てに送信します。 which [メールアドレス]

設定が終わりましたら、「進む」をクリックし「メンバー設定」画面に移ります。



「メンバー設定」画面では、このメーリングリストに参加させたいメンバーの
メールアドレスを設定します。

1つのメールアドレスにつき、1行で入力してください。

メーリングリスト作成に必要な設定は以上です。

設定に問題がなければ、「設定する」をクリックして設定をファイルに反映させます。

●テンプレート設定

ここでは、新規にメーリングリストを作成する際に初期値として利用するテンプレートを設定します。

テンプレートの設定を行うには、「テンプレート設定」をクリックします。

テンプレート設定

メーリングリストを作成する際に利用するテンプレートを設定します。

投稿者制限	<input checked="" type="radio"/> メンバーのみ <input type="radio"/> 管理者のみ <input type="radio"/> 制限なし
最大メッセージサイズ	<input checked="" type="radio"/> 制限なし <input type="radio"/> 制限あり <input type="text"/> バイトまで
アーカイブ	<input checked="" type="radio"/> 保存しない <input type="radio"/> 保存する

コマンドメールの設定

参加方法	<input checked="" type="radio"/> 本人のみ <input type="button" value="▼"/>	<input type="checkbox"/> 参加確認を行う
退会方法	<input checked="" type="radio"/> 本人のみ <input type="button" value="▼"/>	
参加者一覧取得	<input checked="" type="radio"/> メンバーのみ <input type="button" value="▼"/>	
参加リスト一覧取得	<input checked="" type="radio"/> メンバーのみ <input type="button" value="▼"/>	

設定項目のそれぞれの説明は、「メーリングリスト作成」の説明をご覧ください。

設定後、「設定する」をクリックし設定をファイルに反映させます。

例として、参加者は誰でも発言できるメーリングリストを作成してみます。

コミュニティ内での交流に適した設定を行います。

「参加・退会は本人のみ」

「メンバーは参加者名簿の閲覧が可能」

「参加者以外の発言を禁止」

また、参加条件を少し厳しくして「参加は管理者の承認が必要」とすることもできます。

1 : 「メーリングリスト名」を設定します。

ドメイン部は常に自分のバーチャルドメイン名となります。

2 : 「コメント」を入力します。コメントは管理画面で表示される項目になります。

3 : 「管理者メールアドレス」に、管理者のメールアドレスを設定します。

4 : 「管理者用パスワード」に、パスワードを設定します。

設定されたパスワードはコマンドメールの承認等に使用されます。

5 : 「返信先メールアドレス」を設定します。

この欄が空欄になっていると、返信先として送信者のアドレスが設定されます。

「コミュニケーション型」のメーリングリストの場合には、返信先がメーリングリストに設定されているほうが好ましいので、「メーリングリスト名」と同じアドレスを入力してください。

6 : 投稿者制限は「メンバーのみ」、「最大メッセージサイズ」は必要に応じて設定します。

「アーカイブ」を保存するにした場合、バックナンバー等の取得が可能になります。

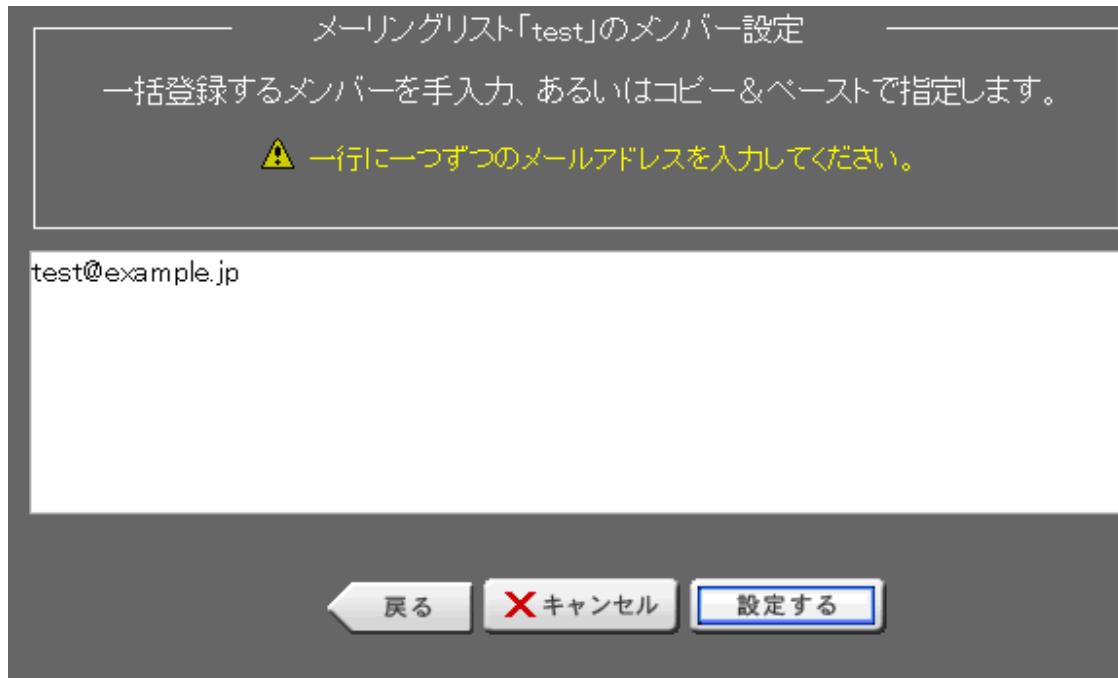
7 : 「参加方法」は、「本人のみ」にします。

8 : 「退会方法」も、「本人のみ」にします。

9 : 「参加者一覧取得」は、「メンバーのみ」にします。

10 : 「参加リスト一覧取得」も、「メンバーのみ」にします。

11 : 入力が全て完了したら、「進む」をクリックして次の画面に進みます。



この画面では、初期設定時のメーリングリストメンバーを設定します。

前画面の管理者アドレスは自動的に設定されています。

アドレスの追加を行う場合は、1行に1アドレスの形式で入力します。

入力が全て完了したら、「設定する」をクリックします。

以上でメーリングリストが作成されます。

●メーリングリストの削除

メインメニューの「メーリングリスト」をクリックし、メニューの
「メーリングリスト管理」をクリックします。

メーリングリスト検索 表示件数: 10 検索

最低表示件数: 1

全1件	頭文字	s - s	全て表示			
	名前	コメント	登録数	投稿数	アクション	メンバー一覧
	sample	sample	1	1	編集 削除 ダウンロード	

⚠ 設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンを
クリックしてください。

設定する

下部に現在登録されているメーリングリストの一覧が表示されます。

削除したいメーリングリストの「削除」をクリックします。

「設定する」をクリックすれば、メーリングリストの削除が完了します。

1-9. DNSサーバーの管理

自バーチャルドメインのDNSサーバーレコードを管理することができます。

管理画面の「DNSサーバー」をクリックし、メニューの「レコード管理」をクリックします。

The screenshot shows the 'Record Management' interface for the 'example.jp' zone. At the top, there is a message: 'このゾーンに新規レコードを追加したり、レコードの削除を行うことができます。' (You can add new records or delete existing records in this zone). Below this is a 'Record Add' form with fields for 'Record' (containing '.example.jp'), 'TTL' (set to 86400), 'Record Type' (set to IN A), and 'Record Value' (empty). A 'Add' button is also present. Below the form is a 'Record List' table showing the following data:

レコード	TTL	レコード種別	レコードの値	操作
example.jp.	86400	IN NS	lc5.example.jp.	削除
example.jp.	86400	IN MX 10	mail.example.jp.	削除
example.jp.	86400	IN A	192.168.166.84	削除
lc5.example.jp.	86400	IN A	192.168.166.84	削除
www.example.jp.	86400	IN A	192.168.166.84	削除
mail.example.jp.	86400	IN A	192.168.166.84	削除
ftp.example.jp.	86400	IN A	192.168.166.84	削除

At the bottom, there are buttons for '戻る' (Back), 'キャンセル' (Cancel), and '設定する' (Set).

- 「レコード」には、ホスト名を入力します。
ドメイン部を変更することはできません。
- 「レコード種別」には、どのようなレコードを登録するかを入力します。
- 「レコードの値」には、「レコード」に対応するIPアドレスまたはホスト名を入力します。

ホスト名を登録する場合には、必ず末尾にドット". "を付加するようにします。

レコードを削除するには、各レコードの右側にある「削除」をクリックします。

全ての設定が終了したら、「設定する」をクリックします。

以上でレコードの登録および削除が完了します。

● 「レコード種別」

正引きゾーンの場合

NS レコード/A レコード/MX レコード/CNAME レコード/TXT レコードが選択可能

逆引きゾーンの場合

お客様のサーバー内の bind にて named を設定、DNS を構築されている場合、逆引きは行えません。

弊社 Rimnet に DNS サーバーを依存している場合は、弊社既定の逆引きが行われます。

別途、逆引きのレコードを変更されたい場合はお問い合わせをして頂く必要があります。

参考までに、逆引きが可能な場合は NS レコード/PTR レコード/CNAME レコード/TXT レコードが選択可能です。

「レコードの値」において末尾にドット「.」を付けず指定すると、ネームサーバーのゾーンファイル上、末尾に「. ゾーン名.」が補完され解釈されます。

例えば

ゾーン名「0.168.192.in-addr.arpa」において、「レコードの値」に「host1.example.com」を指定しますと、「host1.example.com.0.168.192.in-addr.arpa」と解釈されてしまいます。このため、「レコードの値」にホスト名を指定する場合、末尾にドット「.」のついた FQDN で指定する必要があります。

上記例では「host1.example.com.」と指定する必要があります。

レコード種別で「TXT」を選択したときは、TXT レコード問い合わせで返答したい文字列を入力します。

日本語等のマルチバイト文字列は利用できません。

TTL には、このレコードの有効期限を入力します。

省略時は、「DNS サーバー」 - 「ドメイン情報管理」で該当ドメイン編集画面の「レコードキャッシュ保持期間(秒)」で指定した値が適用されます。

レコードの削除を行うには、「レコードリスト」中の該当レコードの「削除」ボタンをクリックします。

削除を取り消したい場合は、「取消」をクリックします。

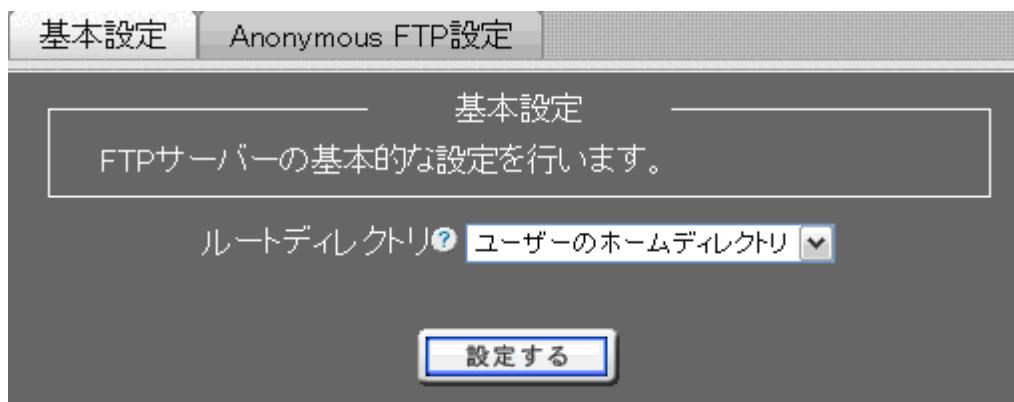
全ての設定が終わったら、「設定する」をクリックします。

レコードリストの一覧表のヘッダーフィールド（レコード、TTL、レコード種別、レコードの値）をクリックすると、クリックした項目でソートすることができます。

1-10. FTPサーバーの設定

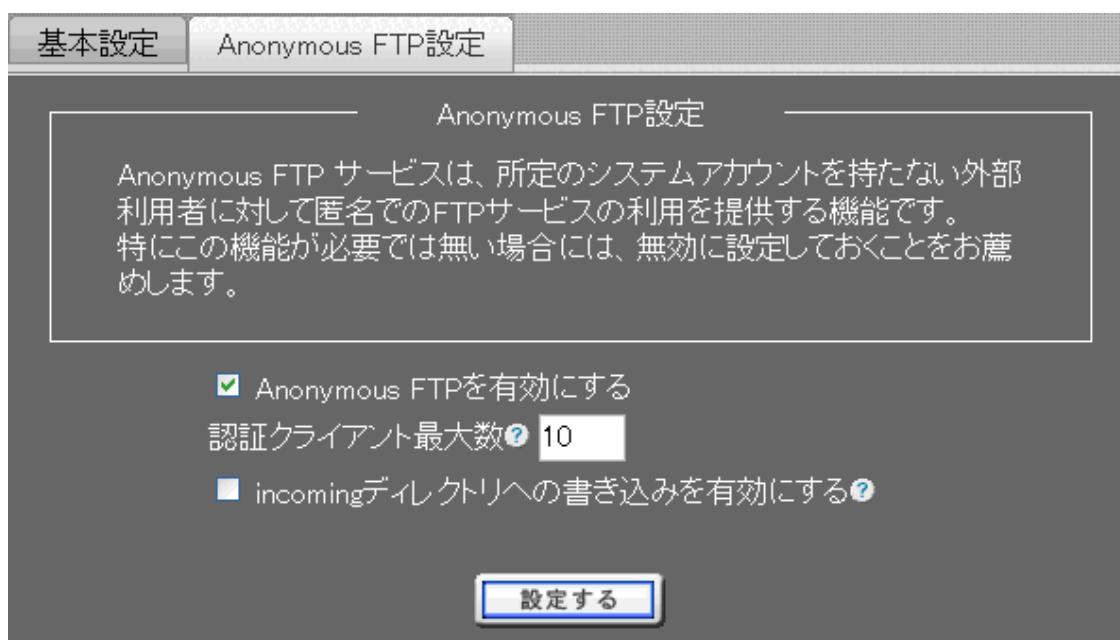
管理画面の「FTPサーバー」－「基本設定」をクリックします。

● 基本設定



FTPログイン後のルートディレクトリを指定します。

● Anonymous FTP の設定



Anonymous FTPとは、アカウント認証を必要とせずにシステムの公開領域へのFTPアクセスを可能とする機能です。この機能を有効にするには、「Anonymous FTPを有効にする」チェックボックスをチェックします。また、「認証クライアント最大数」を設定することにより、同時アクセスユーザー数を制限することもできます。

チェックが終了したら、「設定する」をクリックします。

以上で Anonymous FTP の設定が有効になります。

● incoming ディレクトリの設定

incoming ディレクトリとは、不特定のユーザーの FTP アップロードを許可するディレクトリです。

この機能を有効にするには、

「incoming ディレクトリへの書き込みを有効にする」チェックボックスをチェックします。

「設定する」をクリックします。

以上で incoming ディレクトリの設定が有効になります。

ただし、Anonymous FTP および incoming ディレクトリ機能を有効にするということは、

限定された領域のみとはいえ、不特定のユーザーからのアクセスを許可するリスクを発生させることとなります。

特に必要が無い場合は無効にしておくことをお勧めします。

1-1-1. ユーザー管理

HDE Controller では、ブラウザ上からユーザーの管理を簡単に行うことができます。

管理画面の「アカウント」をクリックし、アカウント管理画面に入ります。

●ユーザーの追加

あと949人のユーザーを追加することができます。

ユーザー名(ログイン名)	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
パスワード(再入力)	<input type="password"/>
グループ	ログイン名と同じにする
追加情報(本名など)	<input type="text"/>
シェル	<input checked="" type="radio"/> /bin/bash <input type="radio"/> 利用不可 <input type="radio"/> その他 <input type="text"/>
メール	<input checked="" type="radio"/> POP 及びAPOPで認証 <input type="radio"/> POPのみで認証 <input type="radio"/> APOPのみで認証 <input type="radio"/> 利用不可
FTP	<input checked="" type="radio"/> 利用可 <input type="radio"/> 利用不可
アカウント有効期限	<input checked="" type="radio"/> 無制限 <input type="radio"/> ----- 年 -- 月 -- 日
ホーム領域制限	容量制限は利用できません。
メールスプール領域制限	<input type="text"/> MBytes

1 : サブメニューから、「ユーザー追加」をクリックします。

2 : 必要項目を入力し、「設定する」をクリックします。

3 : 新規ユーザーが追加されます。

※追加されたユーザーがシェルまたは FTP でログインするには、

ユーザー名をユーザー名@バーチャルドメイン名の形式で入力します。

例)

バーチャルドメイン名 example.jp

ユーザー名 hde のユーザーがログインする方法

hde@example.jp と入力する必要があります。

ユーザー名 (hde) だけではログインすることはできません。

「テンプレート設定」機能を使用することにより、ユーザー追加画面の初期値を変更することができます。

ユーザーテンプレート設定

ユーザーの追加時のデフォルトテンプレートを設定します。

シェル	<input checked="" type="radio"/> /bin/bash <input type="button" value="▼"/>
	<input type="radio"/> 利用不可
	<input type="radio"/> その他 <input type="text" value=""/>
メール	<input checked="" type="radio"/> POP 及びAPOPで認証
	<input type="radio"/> POPのみで認証
	<input type="radio"/> APOPのみで認証
	<input type="radio"/> 利用不可
FTP	<input checked="" type="radio"/> 利用可
	<input type="radio"/> 利用不可
アカウント有効期限	<input checked="" type="radio"/> 無制限
	<input type="radio"/> ----- 年 -- <input type="button" value="▼"/> 月 -- <input type="button" value="▼"/> 日
ホーム領域制限	容量制限は利用できません。
メールスプール領域制限	<input type="text" value=""/> MBytes

この機能を利用することにより、ユーザー追加画面での入力項目を省略することができるようになります。

●ユーザーの編集・削除

ユーザー検索? 表示件数:10 検索
最小表示件数:1
全3件 ユーザーの頭文字 a - h 全て表示

状態?	ユーザー名	説明	詳細	全て削除
	admin		編集	
	ftp		編集	削除
	hoge		編集	削除

▲設定ファイルに変更を反映するには、下の「設定する」ボタンをクリックしてください。

サブメニューから、「ユーザー管理」をクリックします。

ユーザー管理画面には、登録ユーザーの一覧が表示されます。

画面に表示しきれなかったユーザーは、頭文字検索および文字列検索により表示させることができます。

また、この画面からは、ユーザー情報の編集および削除を行うことができます。

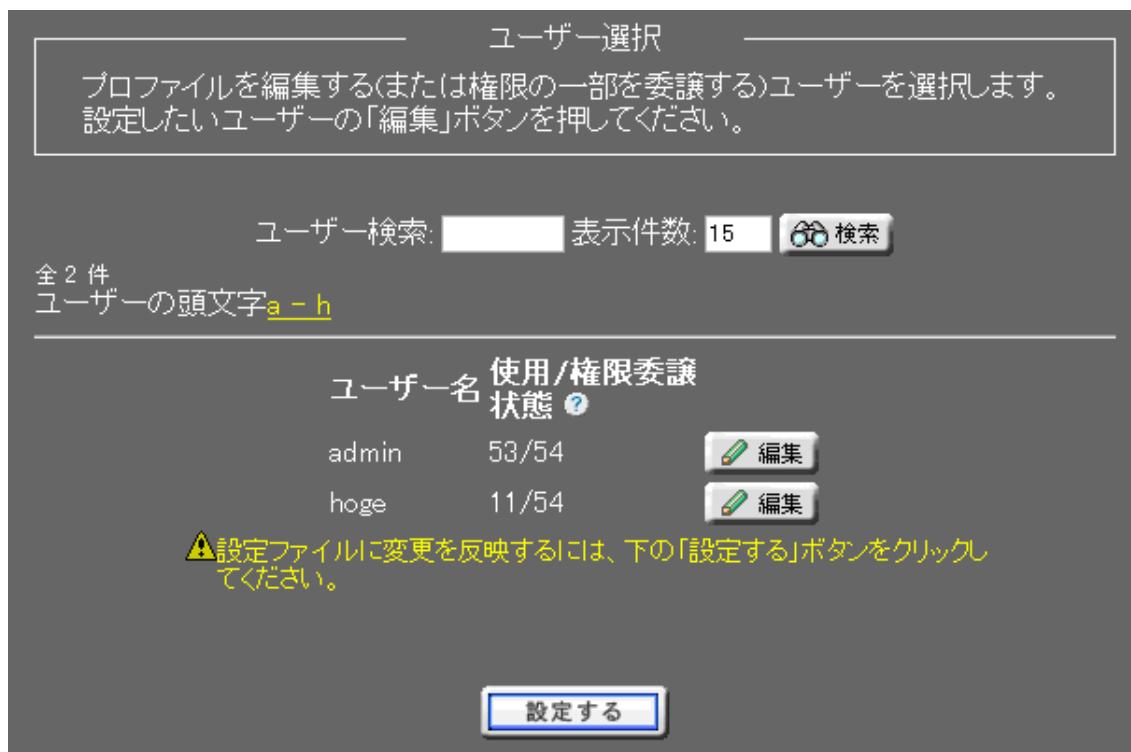
ユーザー情報を編集するには「編集」を、削除するユーザーを指定するには「削除」をクリックします。

「編集」をクリックすると、ユーザー情報編集画面が表示されます。

項目を編集し「OK」をクリックすると、ユーザー管理画面に戻ります。

編集および削除の指定が終了したら、「設定する」をクリックして、設定を完了します。

●アクセス権限設定



サブメニューから「アクセス権限設定」をクリックします。

アクセス権限設定画面には、登録ユーザーの一覧および現在のアクセス権限状態が表示されます。

画面に表示しきれなかったユーザーは、頭文字検索および文字列検索により表示させることができます。

アクセス権限を変更するには、ユーザーリストの右側の「編集」をクリックします。

運用メニュー設定

プロファイルを編集する(または権限の一部を委譲する)運用メニューを選択します。
各運用メニューで全ての設定メニューを使用する場合は「全て」ボタン、使用する設定メニューを自分で選択する場合は「カスタム」ボタン、設定メニューを使用しない場合は「削除」ボタンを押してください。

ユーザー名: admin

運用メニュー	使用/権限委譲 状態	アクション
CGIインストール	4/4	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="radio"/> カスタム
DNSサーバー	1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="radio"/> カスタム
FTPサーバー	1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="radio"/> カスタム
HDE Controller設定	1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="radio"/> カスタム
Webサーバー	6/6	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="radio"/> カスタム
アカウント	9/9	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="radio"/> カスタム
セキュアWebサーバー	5/5	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="radio"/> カスタム
ディスク使用容量制限	2/2	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="radio"/> カスタム
ネットワーク	1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="radio"/> カスタム
バーチャルドメイン	1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="radio"/> カスタム
バックアップ	4/4	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="radio"/> カスタム
マーリングリスト	3/3	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="radio"/> カスタム
メールサーバー	5/5	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="radio"/> カスタム
ユーティリティ(一般用)	0/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="radio"/> カスタム
ユーティリティ(管理者用)	1/1	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="radio"/> カスタム
ログ管理	2/2	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="radio"/> カスタム
個人情報管理	7/7	<input checked="" type="checkbox"/> 全て <input type="radio"/> カスタム



▲設定ファイルに変更を反映するには、上の「戻る」ボタンを押し、次に表示されたページの下にある「設定する」ボタンをクリックしてください。

一般ユーザーのデフォルト状態では、

「個人情報管理」と「ファイルマネージャー」のみ使用可となっています。

目的にあわせて権限を増減させてください。

適切に設定することにより、メール転送機能を使用できないユーザーや、

一般ユーザーでありながらユーザー追加権限を持ったユーザーを作成することもできます。

権限の選択が完了したら、「戻る」をクリックして一覧画面に戻ります。

「設定する」をクリックすることにより、設定が完了します。

1-12. バーチャルドメインのユーザーアカウント者利用方法

■各サービスについてのクライアントソフト設定情報

メールサービス

SMTP サーバー : mail. ドメイン名

POP/IMAP サーバー : mail. ドメイン名

POP/IMAP アカウント : ユーザー名@ドメイン名

(クライアントソフトによっては、@のかわりに%を指定することができます。)

POP/IMAP パスワード : 設定されているもの

FTP サービス

FTP サーバー : ftp. ドメイン名

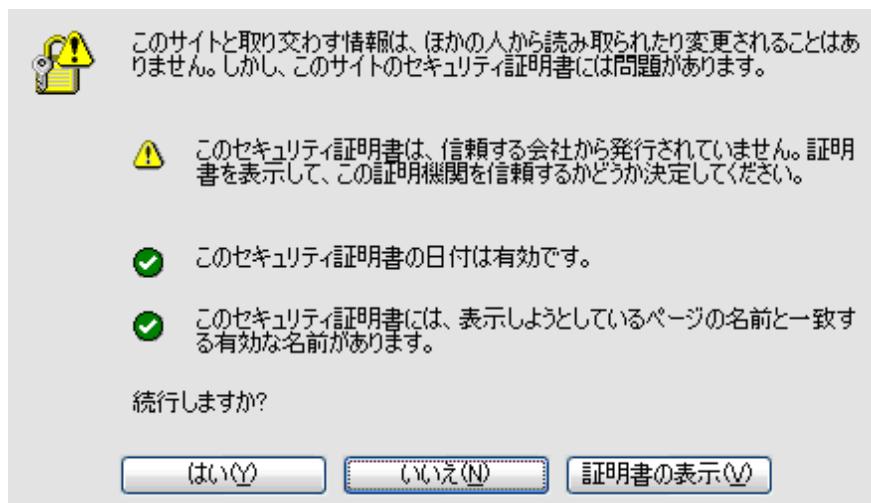
アカウント : ユーザー名@ドメイン名

パスワード : 設定されているもの

リモートホスト初期ディレクトリ : public_html

管理画面のアクセス

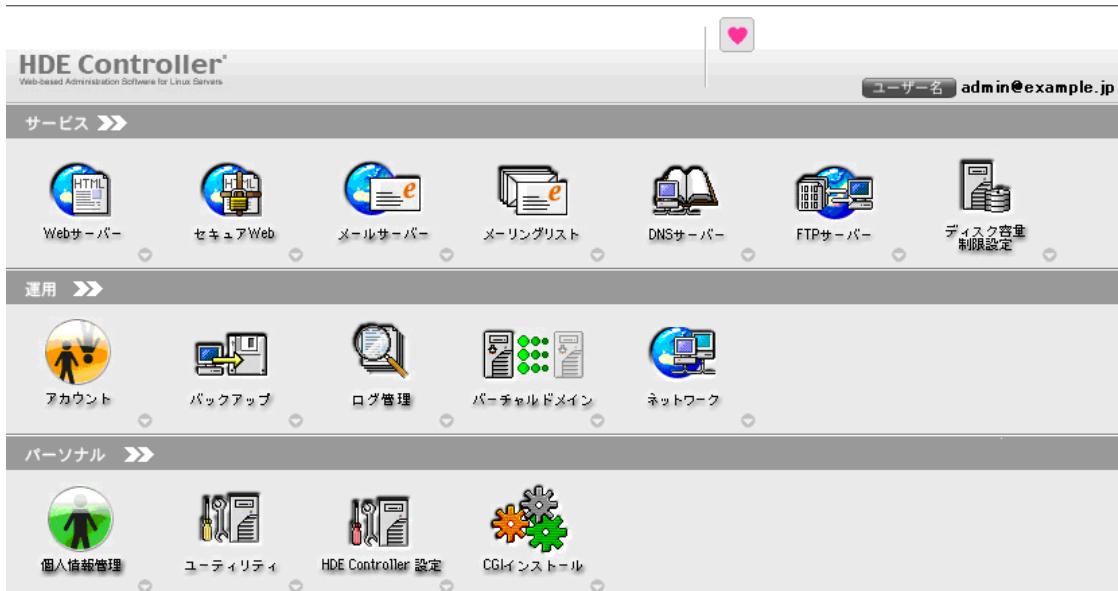
https://ドメイン名:16590/



セキュリティ警告画面が表示されますので、「はい」をクリックして続行します。



ユーザー名	[ユーザー名]@[バーチャルドメイン] (例:admin@virtualdomain.isp)
パスワード	バーチャルドメイン作成時に設定したユーザーpassword



ユーザー管理画面の各機能の表示は、管理者により表示の変更が可能です。

■個人情報管理

ログインしたユーザーに対しての様々な設定の変更が可能です。

●ログインパスワード

————— パスワードの設定 ————

ユーザー名(ログイン名)	admin@example.jp
新しいパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード(再入力)	<input type="password"/>

HDE Controller にログインする為のパスワードが設定・変更できます。

新しいパスワードを入力してください。

「設定する」をクリックして設定が完了します。

※メールパスワードの変更については、次のページで後述します。

● 詳細設定

ユーザー自身の追加情報を設定・変更できます。

ユーザーの詳細設定

ユーザー名(ログイン名)	admin@example.jp
追加情報(本名など)	<input type="text"/> (例) Taro Yamada (空欄でも可)

設定する

一般的には本名などを設定しますが、必須ではありません。

入力欄に入力後、「設定する」をクリックして設定が完了します。

● メール転送

メールの転送先設定

ユーザー名(ログイン名)	admin@example.jp
メールの転送先	<input type="text"/> <small>② <input checked="" type="checkbox"/> このサーバーのメールスプールにも電子メールを残す △注意！：メールの転送先の設定は注意深く行ってください。 メールアドレスが間違っていると、メールが届かなくなるだけでなく、他人に迷惑をかける可能性があります。</small>

設定する

ログインしているユーザー宛てのメールを他のアドレスへ転送するように設定できます。

複数に転送したい場合は、改行をして入力してください。

ログインしているユーザーでも受け取りたい場合は、

「このサーバーのメールスプールにも電子メールを残す」にチェックをしてください。

入力欄に入力後、「設定する」をクリックして設定が完了します。

● メールパスワード

メールパスワードの変更

ユーザー名(ログイン名)	admin@example.jp
現在のメールパスワード:	<input type="password"/>
新しいメールパスワード:	<input type="password"/>
(再入力):	<input type="password"/>

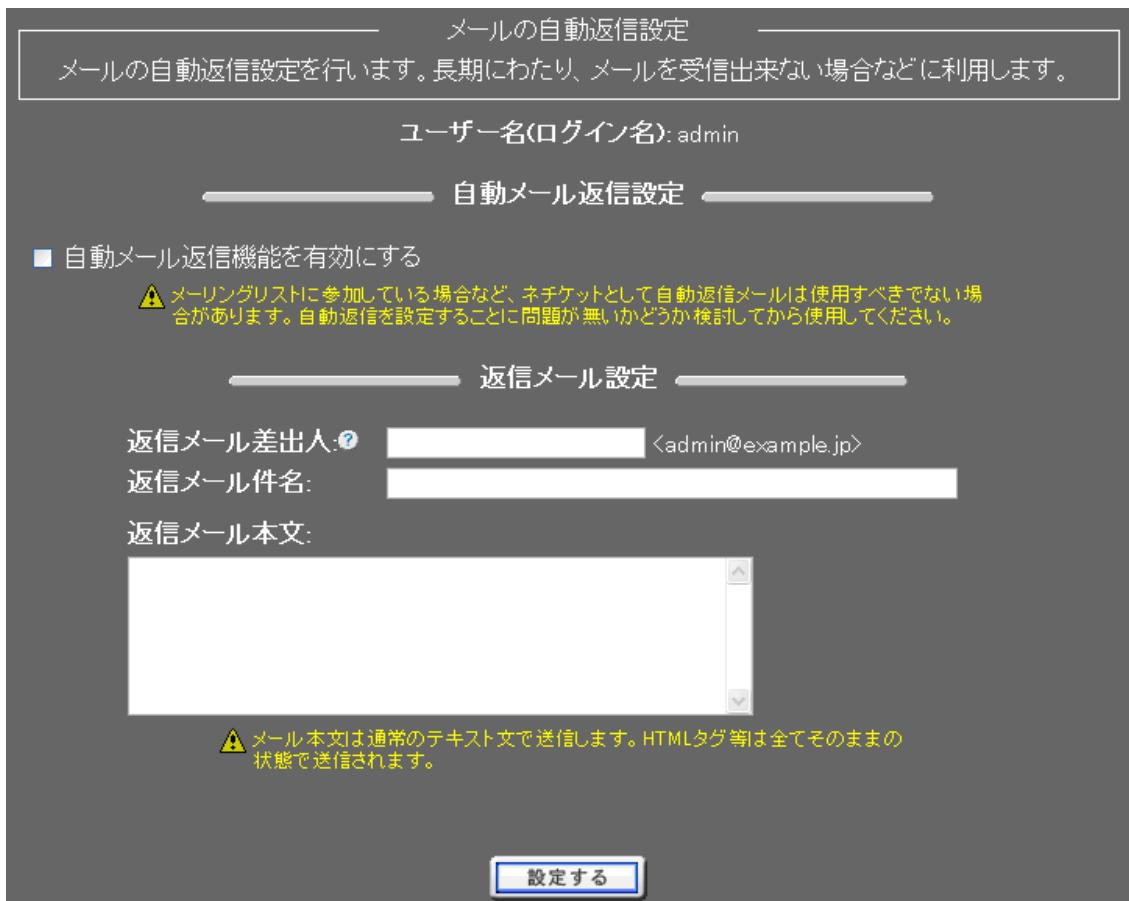
設定する

メールパスワードの設定を変更できます。

現在のパスワードと新しいパスワードを入力してください。

「設定する」をクリックして設定が完了します。

●自動メール返信設定



ログインしているユーザー宛てにメールが送られてきた際に、送信者に対して自動でメールを返信することができます。

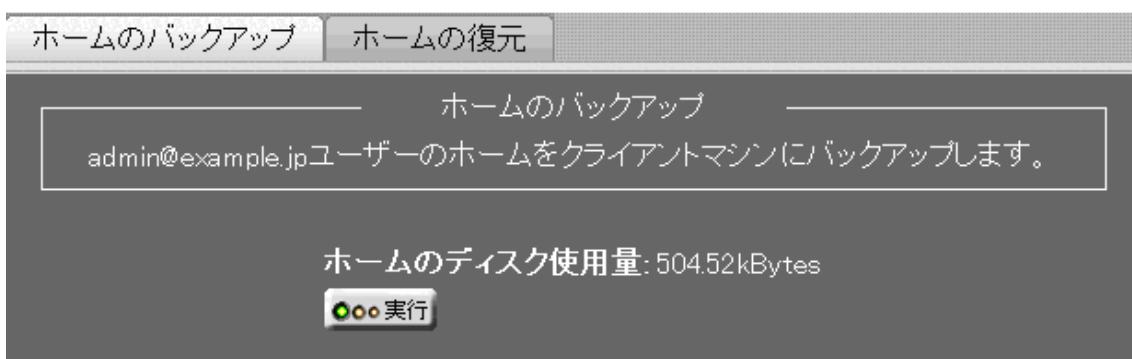
自動メール返信設定を有効にするには、「自動メール返信機能を有効にする」にチェックをします。

差出人、件名、本文 を入力後、「設定する」をクリックして設定が完了します。

●バックアップ/復元

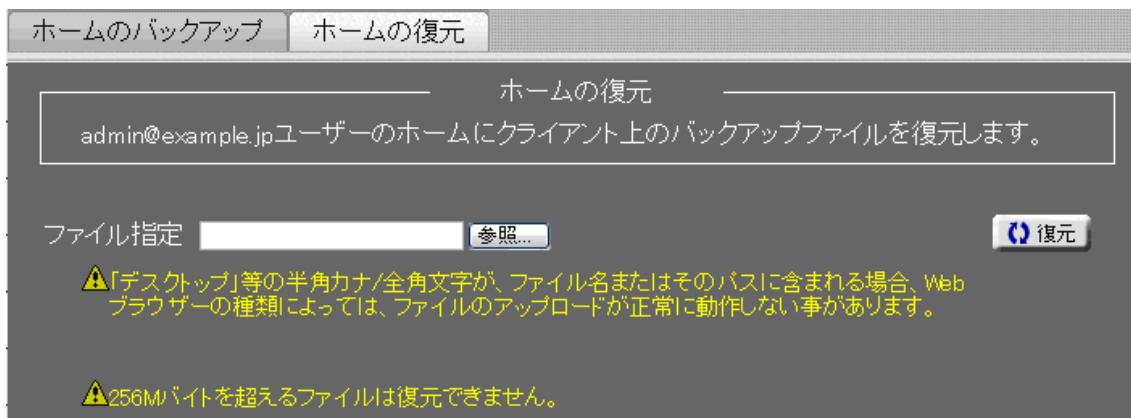
ログインしているユーザーのホームディレクトリ内のファイルをアクセスしているクライアントマシン上にバックアップおよびバックアップの復元が行えます。

●ホームのバックアップ



画面上に、現在のディスク容量が表示されていますので確認の上、「実行」をクリックしクライアント上の適切なディレクトリを指定して保存を行ってください。

●ホームの復元



復元を行うには、「ホームの復元」タブをクリックして画面を表示し、
クライアント上のファイルを指定して「復元」をクリックしてください。
256MB を超えるファイルは復元できません。

●ユーザーステータス

ユーザーステータスの表示	
ユーザー名(ログイン名)	admin@example.jp
ホームのディスク使用量	268kBytes(制限なし)
メールスプールのディスク使用量	0Bytes(制限なし)

ログインしているユーザーのディスク利用状況を表示します。

表示される項目は下記の通りです。

ユーザー名(ログイン名)

ホームのディスク使用量

メールスプールのディスク使用量

ドメイン管理者より使用量の制限をされている場合は「/制限値」で表示されます。

■ユーティリティ

●ファイルマネージャー

ファイルマネージャーを利用すると、FTP クライアントを使用せずにログインしている
ユーザーの html ファイルをアップロードしたり、自分のホームディレクトリにファイルを
アップロードすることができます。

※複数のファイルを同時にアップロードすることはできません。

※ファイルのアップロードは 256MB までに制限されています。

1 : html ファイルをアップロードするには

画面に表示されている public_html をクリックしてください。

全 7 件

名前の先頭文字: e - v

[全て表示](#)

⚠ カレントディレクトリにディレクトリを作成するための権限がありません。

⚠ ファイルをアップロードするための権限がありません。

ディレクトリ圧縮ダウンロード形式: tar+gzip(tgz) 

カレントディレクトリ: /home/lcvirtualdomain/example.jp

[ホームディレクトリに戻る](#)

名前?	サイズ?	日付?	パーミッション?	アクション?
一つ親のディレクトリに移動	4.10 KB	08年04月24日 21時04分	rwxr-xr-x	  
etc	4.10 KB	08年04月16日 03時10分	rwxr-xr-x	  
htdocs	4.10 KB	08年04月16日 03時10分	rwxr-xr-x	  
htdocs_ssl	4.10 KB	08年04月16日 03時10分	rwxr-xr-x	  
logs	4.10 KB	08年04月20日 04時02分	rwxr-xr-x	  
public_html	4.10 KB	08年04月16日 03時10分	rwxrwxrwx	  
users	4.10 KB	08年04月16日 03時10分	rwxr-xr-x	  
var	4.10 KB	08年04月16日 03時10分	rwxr-xr-x	  

 キャンセル

カレントディレクトリが 1 つ下がって、
 /home/lcvirtualdomain/ ドメイン名/users/ユーザー名/public_html
 に変わります。

検索文字列: [] 一度に表示する項目数: 50

全2件
名前の先頭文字: e-i [全て表示](#)

ディレクトリ作成: []

ファイルアップロード: []

ディレクトリ圧縮ダウンロード形式: tar+gzip(tgz)

カレントディレクトリ: /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs [ホームディレクトリに戻る](#)

名前?	サイズ?	日付?	パーミッション?	アクション?
一つ親のディレクトリに移動	4.10 KB	08年04月25日 21時11分	rw-r--r--	
example.com	4.10 KB	08年04月24日 23時17分	rw-r--r--	
index.html	12 バイト	08年04月24日 23時00分	rw-r--r--	

キャンセル

クライアントに保存しておいた html ファイルを、
ファイルアップロードに指定して「アップロード」をクリックします。

検索文字列: [] 一度に表示する項目数: 50

全1件
名前の先頭文字: i-i [全て表示](#)

ディレクトリ作成: []

ファイルアップロード: []

ディレクトリ圧縮ダウンロード形式: tar+gzip(tgz)

カレントディレクトリ: /home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs [ホームディレクトリに戻る](#)

名前?	サイズ?	日付?	パーミッション?	アクション?
一つ親のディレクトリに移動	4.10 KB	08年04月16日 03時10分	rw-r--r--	
index.html	12 バイト	08年04月24日 23時00分	rw-r--r--	

キャンセル

画面にアップロードした html ファイルが表示されればアップロードは成功しています。

※トップページを表示させるには、必ず index.html をアップロードしてください。

●ファイルのパーミッションを変更するには

アップロードしたファイルのアクション欄にある「虫メガネ」のアイコンをクリックします。

選択したファイルの情報が表示されますので、「パーミッション」の適当な欄をチェックして「OK」をクリックします。
前の画面に戻りますので、パーミッションが変更されているか確認してください。

ファイル・ディレクトリの情報

ファイル・ディレクトリの情報を表示します。変更可能な場合はパーミッションの変更を行うこともできます。

▲ ファイルの情報を変更する権限がある場合は、「OK」ボタンをクリックするとパーミッションの変更をすぐさま行います。「Cancel」ボタンや「戻る」ボタンをクリックすると何もせずに一覧に戻ります。

/home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs/index.html の情報

名前:	index.html
ディレクトリ名:	/home/lcvirtualdomain/example.jp/htdocs
ユーザー名:	admin@example.jp
グループ名:	@example.jp
ブロックサイズ:	16
ファイルサイズ:	12
パーミッション:	<input type="checkbox"/> その他のユーザーが実行可能 <input type="checkbox"/> その他のユーザーが書き込み可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他のユーザーが読み込み可能 <input type="checkbox"/> グループ内のユーザーが実行可能 <input type="checkbox"/> グループ内のユーザーが書き込み可能 <input checked="" type="checkbox"/> グループ内のユーザーが読み込み可能 <input type="checkbox"/> 自分のみが実行可能 <input checked="" type="checkbox"/> 自分のみが書き込み可能 <input checked="" type="checkbox"/> 自分のみが読み込み可能 <input type="checkbox"/> プログラムコードをスワップに維持 <input type="checkbox"/> 実行時にグループ ID を設定 <input type="checkbox"/> 実行時にユーザー ID を設定

 OK  Cancel

前の画面に戻りますので、パーミッションが変更されているか確認してください。

※所有者が自分以外のファイルの変更は行えません。

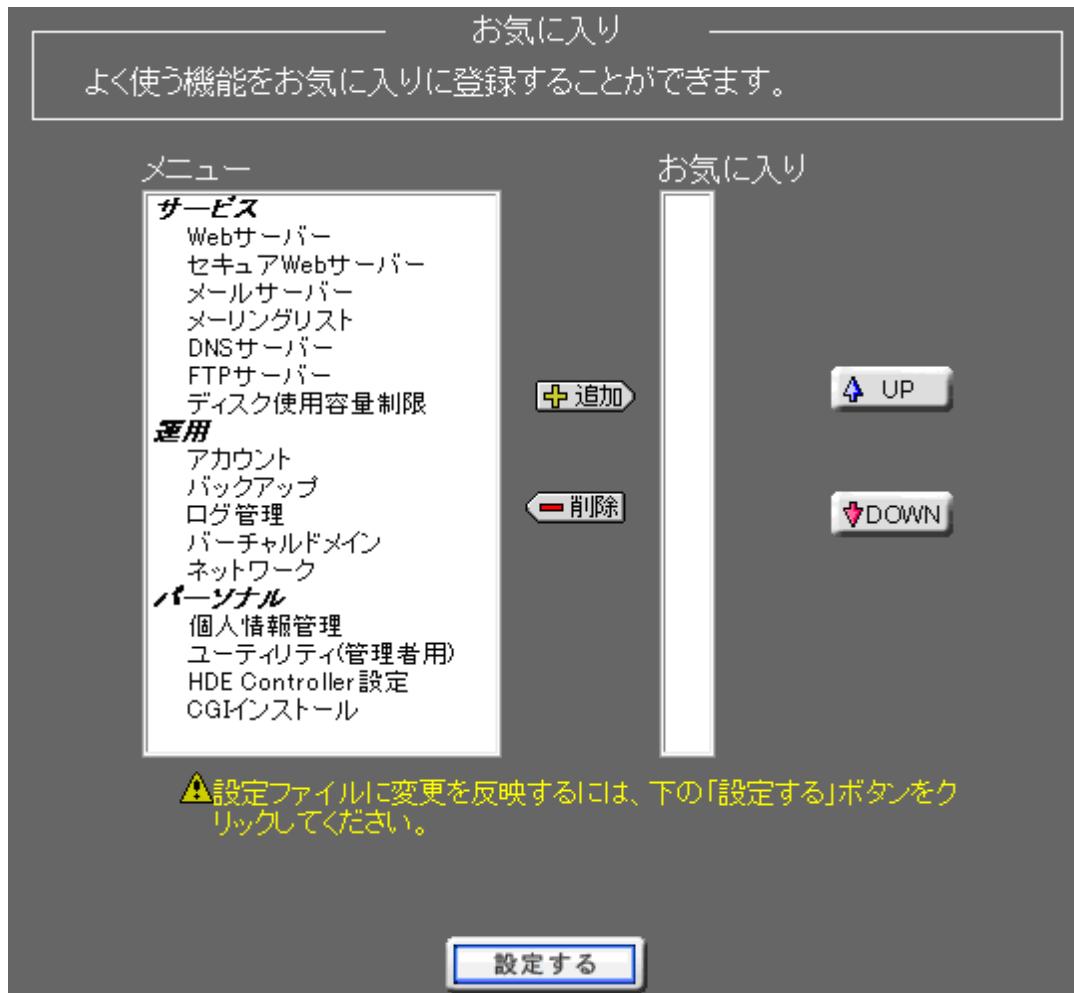
■HDE Controller 設定

お気に入り設定

HDE Controller でよく利用するメニューをお気に入りメニューとして登録することができます。

ここで登録したメニューは常に管理画面の右上に小さいアイコンで表示されるようになります。

必要なときにこれをクリックすることで、素早く目的の機能にアクセスすることが可能になります。



●お気に入りにメニューを登録したい場合

登録したいメニューを設定画面の左側のテキストエリアから選択、「追加」をクリックします。

●お気に入りからメニューを解除したい場合

解除したいメニューを右側のテキストエリアから選択、「削除」をクリックします。

●登録したお気に入りの表示順序を変更したい場合

変更したいメニューを選択し「UP」、または「DOWN」で移動させます。

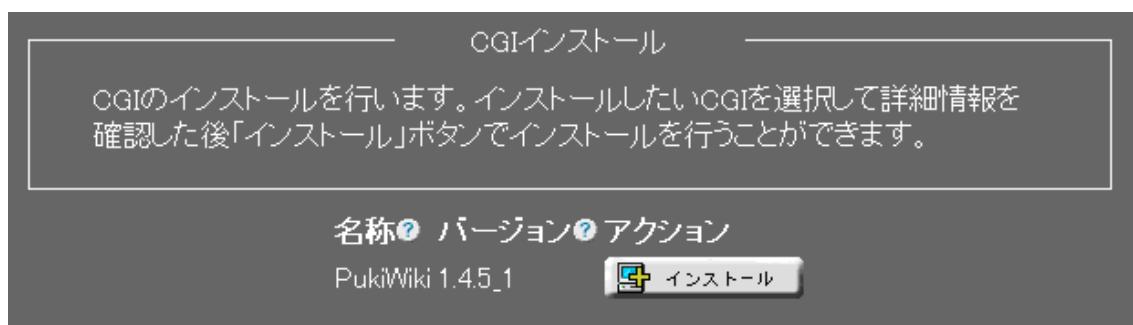
全ての設定が完了したら「設定する」をクリックして設定を完了します。

コントロール(Ctrl)キーを利用して複数のメニューを選択できます。

テキストエリア上の複数のメニューを一度に選択することができます。

また、Shift(Shift)キーを利用して複数のメニューを選択することも可能です。

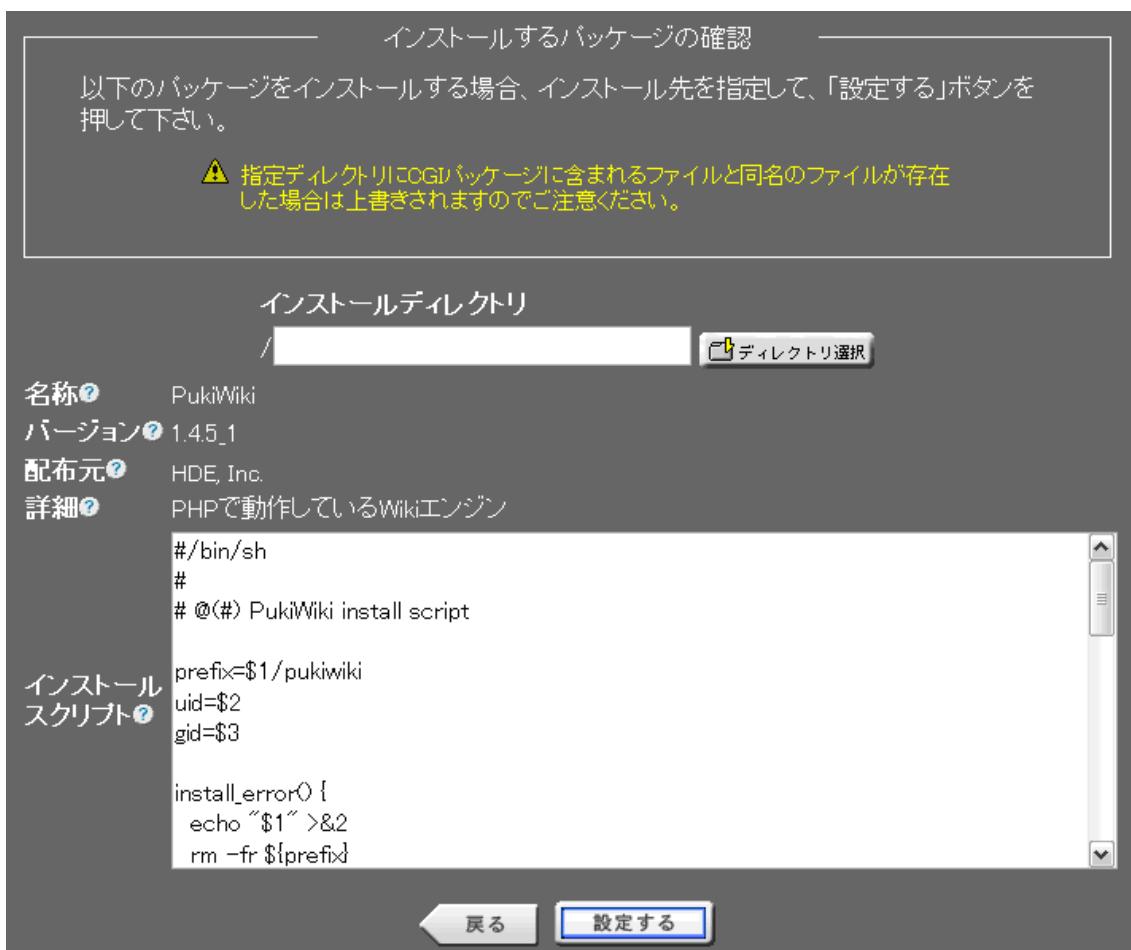
■CGI インストール



この画面では各ユーザーが使用する CGI のインストールを行います。

インストールを行いたいパッケージの「インストール」を押すと、

インストールするパッケージの確認画面が表示されます。



内容に問題がないことを確認後、インストールディレクトリを指定し、

「設定する」を押すと、指定ディレクトリを基準としてインストールが行われます。

インストールディレクトリの指定は各ユーザーの権限の範囲内でのみ行うことができます。

なお、root、ispadmin、ladmin ユーザーは全てのディレクトリを

インストールディレクトリとして指定することができます。

インストールスクリプトの実行はログインユーザーの権限で行われます。

ただし、ispadmin ユーザーの場合は root 権限で実行されます。

インストールディレクトリの権限はあらかじめファイルマネージャー機能等を

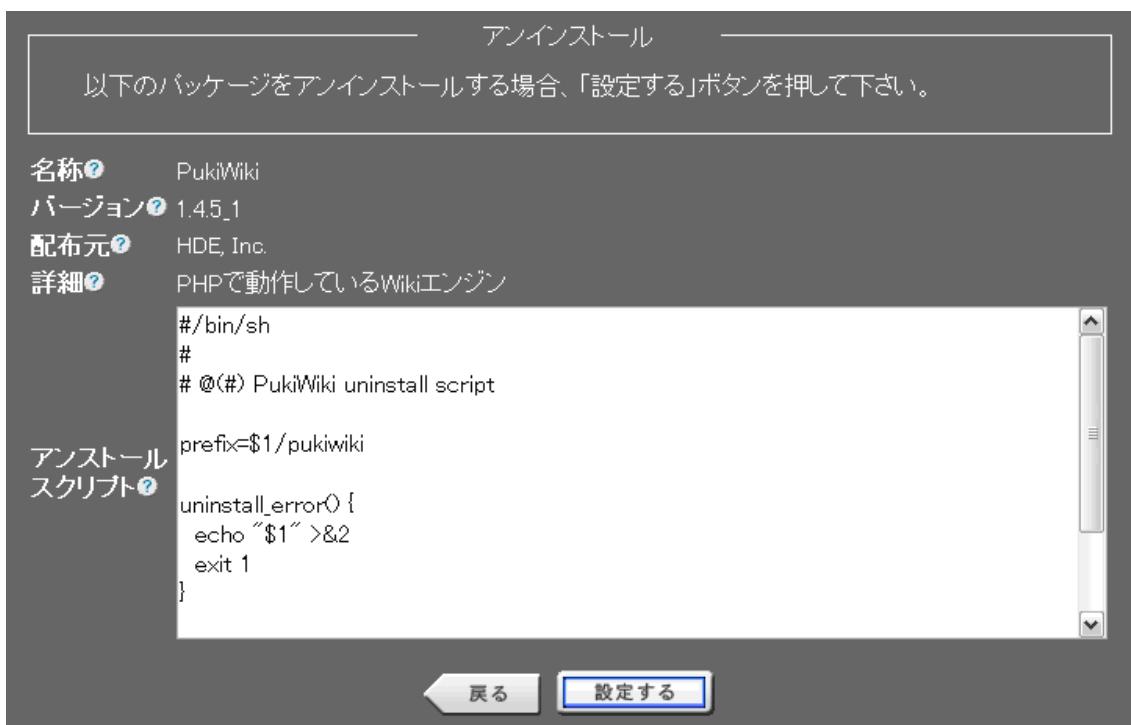
利用して書き込み可能な状態に設定しておく必要があります。

●CGI 管理 アンインストール



この画面では各ユーザーがインストールした CGI のアンインストールを行います。

アンインストールを行うパッケージのそれぞれのボタンを押すと確認画面が表示されます。



内容に問題がない事を確認後、「設定する」を押すと、アンインストールスクリプトが実行されます。

アンインストールスクリプトの実行はログインユーザーの権限で行われます。

ただし、ispadmin ユーザーの場合は root 権限で実行されます。

マイサーバーサービス 利用マニュアル (バーチャルドメインユーザーの利用方法) マイサーバーVPS compact

発行元：株式会社イージェーワークス

発効日：2010年7月9日 rev1

リムネット カスタマーサポートセンターの連絡先

電話窓口：0120-678-309

ファックス：045-472-2777

メール：support@rim.or.jp

受付時間：24時間 365日

本マニュアルに記載されている内容の著作権は、原則として株式会社イージェーワークスに帰属します。

著作権法により、当社に無断で転用、複製等することはできません。